

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第37回ムトス飯田賞
「はなぶさ村農園」



第37回ムトス飯田賞
「ハッピーハウス」



令和3年度
ムトス飯田推進委員会

— はじめに —

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「むとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスを呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第37回までに、78団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。令和2年度までに601の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。今は新型コロナウイルス感染症の影響で先が見えにくい状況ですが、リニア新時代へ向けて市民協働の広がりへの期待が大きくなってきています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要になります。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関する団体等を中心にまとめた「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

令和4年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第37回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ はなぶさ村農園	1
・ ハッピーハウス	2
・ 飯田市中心市街地活性化協会 《特別賞》	3

II 令和3年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告

まちづくり・地域づくり応援事業

	ページ
・ 子育て応援隊ふわり	4
・ NPO法人南信州クラブ	6
・ はなぶさ村農園	8
・ NPO法人もりの学校	10
・ 鼎地区まちづくり委員会(鼎地区地域コミュニティ情報発信事業)	12
・ 猿庫の泉愛護会	14
・ 丸山まちづくり委員会(未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト)	16
・ 千代地区まちづくり委員会 (千代の明るい未来を描く～第4次千代地区基本構想計画の策定)	18
・ 羽場獅子舞保存会	20
・ 天龍峡温泉観光協会	22
・ NPO法人飯田ブルーベリー振興会	24
・ 立石区祇園祭	26
・ 佐倉さま桜まつり実行委員会	28
・ NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師	30
・ 麻績の里振興委員会	32
・ STUDIO STEEZ	34
・ 飯田市赤十字奉仕団 紙芝居班	36
・ CHIKURIN	38
・ 鼎農地耕さくらぶ	40
・ 大宮通り桜保存会	42
・ 代田地区寺子屋運営委員会	44
・ 代田獅子囃子保存会	46
・ 一般社団法人 South-Heart	48
・ 北方壮年団	50
・ おとめWAVE	52

多様な主体が連携する協働活動

・ プロ野球選手を招く会・飯田市指導者協議会	54
・ 竜丘公民館・竜丘小学校	56

III 市民活動団体のご紹介 (情報提供いただいた団体)

1 ムトス飯田賞 受賞団体 (受賞年度順)

			ページ
・ 風越山を愛する会	平成 8年度	第12回受賞	58
・ 上飯田夕市グループ	平成12年度	第16回受賞	59
・ 朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	60
・ 飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	61
・ 黒田人形劇保存会	平成14年度	第18回受賞	62
・ 子ども科学工作教室運営協議会	平成16年度	第20回受賞	63

・ 木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	64
・ ひさかた和紙の会(旧:ひさかた和紙保存会)	平成18年度	第22回受賞	65
・ 秋葉街道を愛する会	平成20年度	第24回受賞	66
・ 杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	67
・ 南信州飯田 おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	68
・ 麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	69
・ 遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	70
・ 麻績竹宵の会 かぐや姫	平成24年度	第28回受賞	71
・ 地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	72
・ 繫(下黒田東有志の会)	平成29年度	第33回受賞	73
・ 小野子区	令和元年度	第35回受賞	74
・ もみじの会	令和元年度	第35回受賞	75
・ 特定非営利活動法人 七和の会	令和2年度	第36回受賞	76

2 ムトス飯田助成事業 令和元、令和2年度の助成団体等	ページ
・ はなのき友の会	77
・ 間伐ボランティア「森集人」	78
・ 川路七区「相生花いっぱい運動」	79
・ 信州森組	80
・ 農愉快	81
・ 南信州飯田蕎麦達人の会	82
・ 小野子支援隊	83

3 まちづくり委員会等	ページ
・ 橋北まちづくり委員会	84
・ 橋南まちづくり委員会	85
・ 羽場まちづくり委員会	86
・ 丸山まちづくり委員会	87
・ 東野まちづくり会議	88
・ 座光寺地域自治会	89
・ 松尾地区まちづくり委員会	90
・ 下久堅地区まちづくり委員会	91
・ 上久堅地区まちづくり委員会	92
・ 千代地区まちづくり委員会	93
・ 龍江地域づくり委員会	94
・ 竜丘地域自治会	95
・ 川路まちづくり委員会	96
・ 山本地域づくり委員会	97
・ 三穂まちづくり委員会	98
・ 伊賀良まちづくり協議会	99
・ 鼎地区まちづくり委員会	100
・ 上郷地域まちづくり委員会	101
・ 南信濃まちづくり委員会	102
・ 上村まちづくり委員会	103

4 特定非営利活動法人 (NPO法人)	ページ
・ 南信州バイコロジー協会	104
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	105
・ おしゃべりサラダ	106
・ 川路グリーンカルチャー	107
・ いなだに竹Links	108
・ 里山ベース	109

第37回ムトス飯田賞 受賞団体

はなぶさ村農園

～ 子どもの農育・食育・居場所づくり ～

2019年8月に荒れた遊休農地削減に取り組み農地の再生を行いたいと設立しました。農地を活用し地域の子どもや大人たちが一緒になり、農作物を栽培する楽しさや収穫する喜びを伝える農育・食育活動をおこなっています。

また、年中行事などを行い、子ども達の居場所づくりの活動も行っています。

活動としては、4つのことに重点を置き取り組んでいます。

①活動に参加することで大人や子どもの垣根を超えコミュニケーションをとり、社会性を学べる場所と子どもたちの居場所を提供する。

②野菜作りを通じて農業の楽しさや知識を伝え、子どもや大人たちが一緒に土に触れ作物を栽培する機会を提供する。

③子どもと大人が一体となり、土づくりから収穫までの作業をし、自分達で栽培した野菜を食べるまでを体験できる農業教育及び食育活動を行う。

④消費者に農作物が届くまでの流通を学ぶため、自分たちの栽培した野菜の販売活動を行い、栽培から消費までの仕組みを学習する。

2021年には、じゃがいも、大根、二十日大根、さつまいも、玉ねぎなどの栽培に取り組み、毎月1～2回ほどの体験会を実施しました。植え付けから除草作業、収穫までを子供たちと行いました。

また、栽培した野菜を子ども食堂や保育園に提供しました。さらに、学童保育の食育授業として収穫体験を行う場所としても活用できる場所となりました。多くの活動を行うことで、様々な方々の交流の場所となってきています。

今後も、子どもたちに農業や食の大切さを伝える活動を行っていきたいと思っています。

- ◆農園長 さとう ともひで 佐藤 智英
- ◆発 足 2019年8月
- ◆2021年参加人数 延べ220人



【さつまいも植え付け体験会】



【じゃがいも収穫体験会】



【栽培した野菜を子ども食堂に提供】

第37回ムトス飯田賞 受賞団体

ハッピーハウス

～ 子どものみならず全ての人が集える居場所作り～

<子ども食堂>

子どもに関わる仕事をする中で、平成26年頃より子どもの貧困が問題視されるようになり、伊賀良地区にて平成28年10月よりボランティアスタッフと食事と遊びのつどいの場所として「子ども食堂ハッピーハウス」を始めました。

食事は月1回土曜日の昼食を伊賀良公民館にて作り、利用者さんと皆で会食をしていました。ただ、コロナ禍に於いてはお弁当に形を変え、配布または配達しています。

食材は主に地域の方々が、お米、野菜、果物などを無償で提供して下さり本当にありがたく思っています。



クリスマス会

食事時間までの間は皆でそれぞれの遊びを楽しんだり、季節の行事(お餅つき、ひな祭り七夕、クリスマス会)大人同士のおしゃべり、子育てについての相談なども行い、子どもだけでなく多世代に渡り人と人が集える場所となっています。



高校生との交流

<学童保育>

子ども食堂にて子育てについての相談を受ける中から放課後、また長期休みの子どもの預かりをして欲しいとの要望が多く単に預かるという目的ではなく、日常生活する力(挨拶、くつをそろえる、相手の事を考える等)をつける為との思いから平成28年7月の夏休みから始まり、平成29年4月からは平日の放課後の預かりも始めました。

平日については、おやつ宿題後はなるべく自分は何をしたいのか、自分で考えて行動をしてもらっています。いろいろな遊びももちろんですが、ボーっとすることも良しと思っています。

長期休み中は、グラウンド、図書館へ行ったり宅老所さんとの交流、小物づくりのワークショップ、地域の花農家さんによる花育などの体験に加え、お掃除も大切にしたいとの思いから、日頃お世話になっている伊賀良公民館にはお掃除をさせてもらいに行っています。

伊賀良地区の子どもは、こうして地域の方々に支えられて育っています。この場での経験がいずれ、大人になった時、恩返しとして今度は支える立場になって欲しいと願いつつ活動を続けていきたいと思っています。



ワークショップ

- ◆ 代表 かつまた まり 勝又 真理
◆ 発足 平成28年10月
◆ ボランティアスタッフ 5名

第37回ムトス飯田賞 特別賞

飯田市中心市街地活性化協会

～ 中心市街地の総合的かつ一体的なまちづくり ～

当協会は、飯田市が策定する飯田市中心市街地活性化基本計画及びその実施について協議するとともに、その事業を実施するため、平成19年に発足しました。民間の視点を取り入れ、官民協働により中心市街地活性化を総合的かつ一体的に進めていくため、活動しています。

また、中心市街地の様々な組織・団体が主体的に活動できるよう、積極的に支援・働きかけを行っています。多様な人々が中心市街地を活動の場にするにより、人々が集い、にぎわいが生まれてきています。

ホームページやSNSでの中心市街地の情報発信、りんご並木でのイベント、飯田丘のまちフェスティバル、飯田丘のまちバル、中心市街地通行量調査、各種勉強会等、広い分野で中心市街地の発展に取り組んでいます。以下取り組みの一部を紹介します。

【りんご並木でのイベント】

(主体：りんご並木まちづくりネットワーク 事務局：当協会)

イベントの主体団体、出店者、りんご並木まちづくりネットワーク会議メンバーが一丸となり、歩行者天国を実施し、イベント運営をしています。今年度は入場ゲートでの検温・消毒等の感染対策を取りながら、イベント開催に取り組み、「ぽおの日曜日」「りんご並木天国」「わくわく並木広場～ぽおの土曜日」が開催できました。



【飯田丘のまちフェスティバル】

(主体：飯田丘のまちフェスティバル実行委員会 事務局：当協会)

毎年11月3日に中心市街地一帯を歩行者天国にして実施し、サブカルチャーとグルメを中心に人形劇のまち飯田を広く発信しています。地域の内外から多くの人々が集まるイベントとなっています。令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況を受け、11月中を「丘フェス月間」とし、コンテスト募集やオンラインイベント等、自宅等でも楽しめる企画を実施しました。

【飯田丘のまちバル】

(主体：飯田丘のまちバル実行委員会 事務局：当協会)

中心市街地の参加飲食店にてチケットで期間限定の食べ物・飲み物セット（バルメニュー）が楽しめるイベントです。夏のイベントとして定着しつつあります。個性的で魅力ある飲食店が数多くある中心市街地でイベントを実施することにより、まちなかを回遊してもらい中心市街地の賑わいを創出し、商業振興に繋がるよう取り組んでいます。令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況を受け、密集を避けるため「飯田丘のまちバル月間2021」と称し、月間イベントとして開催しました。全参加店舗に長野県の「信州の安心なお店」認証を受けてもらい、安心して飲食できる中心市街地をPRしました。



現在、中心市街地も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、未だ収束が見えない中ですが、「今、私たちがやるべきこと」を考え、中心市街地活性化を目的にこれからも取り組んでいきます。

- ◆理事長 原 勉
- ◆発足 平成19年度
- ◆構成員 17名

取組名称	親子の絆づくりプログラム(愛称BPプログラム)
団体名	子育て応援隊ふわり
代表者氏名	村松かおり
地区名	橋北

取組みの目的

●親子の絆づくりプログラム『赤ちゃんがきた!』について
核家族化が進む中、赤ちゃんに触れた経験のないまま母親となり、孤独で辛い子育てをしている女性が増えている。また生後1年から2年、又は生後6ヶ月以降で職場復帰をする女性が増え、0歳児期に親子の絆を作るお手伝いをする重要性を強く感じている。
このプログラムは、第1子の母親に早期に実施するため、子ども虐待や産後鬱予防等の効果が高い。早い段階から支援の情報を得られる等の効用がある。全4回、毎週同じ曜日同じ時間を過ごすこのプログラムは、参加者がお互い名前を覚え、不安や心配事等共有・共感し合い子育て仲間ができる。親が心身共に安定して赤ちゃんに関わると、親子の絆がより深まる。0歳児期の心の発達課題である【心の安定根】が子どもの心に育まれ親との信頼感が生まれる。これにより虐待が未然に予防でき、子どもの思春期に花開く子育ては0歳児が大事であることを伝えるプログラムに構築されている。子育て仲間ができることで、つどいの広場などにも出かけやすくなり、初産の不安から子育てに自信のない母親に、本来持っている積極性や学ぼうという気持ちを引き出せるプログラムとなっている。

●『0歳児のわらべうた』講座について
月齢の小さな赤ちゃんは抱いていることが多く、まだ反応が少ないので、母親は我が子とどのように関わればよいのかわからない。喜びの共有・共感とは人の育ちの原点であるとおっしゃる、講師中津先生の優しい歌声に包まれて、母子共に心温まるひとときゆったりと過ごして頂きたい。

具体的内容

●親子の絆づくりプログラム『赤ちゃんがきた!』(BP1)
ファシリテーター(有資格者)の進行で、全4回、同じ曜日同じ時間で4週続いて開催するプログラム
第1回:「新しい出会い」
第2回:「赤ちゃんのいる生活」
第3回:「赤ちゃんとの接し方」
第4回:「親になること」
毎回テーマに沿って母親同士が話し合いをしたり、発達理論に基づいたテキストやDVDで先を見越した子育て知識を身につける。

●『0歳児のわらべうた』講座(講師:中津美奈子先生)
0歳児に合った「わらべうた」を講師より教えて頂き、お母さんは我が子と共に実践する。それぞれの家庭に戻ってからも、子育てツールとしていろんな場面で使ってもらえるようになってほしい。



説明 コロナ禍でなければ円になりもっと近くでセッション



説明 テーマについてペアで話し合い



説明 自然と仲良くなり話が弾む



説明 オンライン式BPも好評です

取組の経過	<p>2018年元椎名レディースクリニック助産師の椎名純代と保育士の村松かおりにより「産後ママのサポートの必要性」という考えのもと1年かけて〈産後の母親のサポート〉や〈0歳児の心と体の発達〉について様々な講義や研修に参加した。そして『親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た”』(BP1)を知り、養成講座を受講して椎名と村松が2019年度ファミリーテーター資格を取得した。その後スタッフが2名増える。</p> <p>2019年4月『子育て応援隊ふわり』を結成する。</p> <p>2020年11月1名スタッフが増える。</p> <p>2021年4月1名スタッフが増えて現在6名となり広報活動の場を下伊那郡にも広げる。</p> <p>2019年度5月、9月、1月の3回『親子の絆づくりプログラム』を開催実施。(専照寺:伝馬町にて)</p> <p>プログラム終了後日に参加者を対象に”さらしおんぶ”講座を開催実施。(専照寺にて)</p> <p>2020年は新型コロナ感染防止のためプログラム、イベントは全て中止する。</p> <p>2021年3月コロナ感染防止のため今後の開催を対面式だけではなくオンラインBP1の開催もあるだろうとの事でオンラインBPの養成講座をスタッフ1名が受講する。</p> <p>2021年5月の対面式プログラム開催はコロナ感染防止のため中止。</p> <p>2021年5月オンラインBPの養成講座をスタッフ2名が受講する。</p> <p>2021年6月オンライン式ベビープログラムを開催実施。</p> <p>2021年9月対面式ベビープログラムを開催実施。(旧測候所にて)</p> <p>2021年12月阿智村子育て支援室より依頼を受け対面式ベビープログラムを開催。(1.8.15.22日)</p> <p>2021年12月『0歳児のわらべうた』(講師:中津美奈子先生)の講座を開催。(東野公民館にて)</p>
取組の効果	<p>●4回続いているプログラムです。1回目は緊張した面持ちで参加するお母さん達が、2回3回と進むにつれて、表情が柔らかく笑顔が増え、参加者同士の会話も増えていきます。プログラム終了後も会場に残って、会話が続き我が家のようにくつろいでくれます。4回のプログラムが終了後は、スタッフが関わらずとも、参加者同士が必ず繋がり、ずっと仲良くしていってくれます。(町で久しぶりに出会った参加お母さんに出会いその後の交流の話を多々お聞きすることがあり嬉しく思います。)</p> <p>●以下の感想の一部を読んで頂きますと、取組み効果がわかると思います。 「参加者の感想の一部」(規定のアンケート中の感想をそのまま掲載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か起きる度、不安しかなかった子育てのスタートでしたが、不安な事、嬉しかった事、今までしてきた事、子育て以外の事まで共有できる機会を頂けて本当によかったです。 ・子どものことがとても好きで、友人・親戚の子のお世話をよくしていましたが、自分の子を産んでみて責任感が重すぎて押しつぶされそうになったことがあります。そんな思いや不安等をたくさんの方達とお話することで不安が解消されました。ありがとうございました。 ・愛おしかった存在がより一層愛おしくなった。ふわりの方々や同じ思いで頑張っているお母さん達がいてくれて気持ちが楽になり、より一層我が子と接するのが楽しくいい時間になった。 ・いままで外に出ることなく家にばかりいた。第一子を持つお母さんと交流することがなかったので、悩みを共有することができ良い機会になりました。DVDやテキストで学ぶこともできたので家でも活用していきたいです。 ・このプログラムに参加して、前までに増して赤ちゃんのことに深く理解でき娘のことがますます愛おしいと思う気持ちが増えました。 ・不安に思っているのは自分だけではないということに気付いて安心して接することができたと思う。親の気持ちの安定は子どもに伝わるということを改めて感じた。 ・より愛情をもって、また自信をもって接せられる様になった気がします。これからも子どもと楽しく笑って頑張っていきます。ありがとうございました。 ・ふわりのこの活動の場があることを知って参加でき、子育てに穏やかに向き合うことができました。本当に嬉しかった。ありがとうございました。 ・今の時期にたくさん愛情を注いで育児をすることがとても大切だとわかりました。日中ひとりで子どもと一対一だと余裕がない時もあるけど、小さくてかわいい今の時期は貴重だからもっと育児を楽しもうと思えました。子育てママの繋がりがもできて本当に参加してよかったです。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●『赤ちゃんがきた！』(BP1)を、ふわり主催で対面式とオンライン式を並行して年間3回づつ継続して募集し開催していきたい。(橋北公民館にて) ●『きょうだいきた！』(BP2)の養成講座を12月に2名、3月に1名受講予定。二人目三人目の子育てママに向けての講座を計画し開催に向けていきたい。 ●BP1BP2ともに、ふわり独自開催ばかりでなく、つどいの広場、保育園、公民館等にも取り上げていただけるように働きかけをしたい。 ●『0歳児のわらべうた』講座も、年3回開催を続けていきたい。(東野公民館にて) ●一緒に活動をしてくれる仲間づくり

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		500,000
うち助成金(見込み)		350,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チラシ作成印刷・コピー・用紙等	20,000
	コロナ感染予防グッズ	40,000
	養成講座(オンライン式・BP1・BP2)受講料	331,200
	その他	128,800

取組名称	天龍峡八重桜街道 さくら祭り 少年ラグビー交流大会 横断幕設置事業
団体名	NPO法人南信州クラブ
代表者氏名	木下 要弥
地区名	

取組みの目的	昨年度を除き毎年天龍峡八重桜街道さくら祭りに合わせて今田平河川敷手作り芝生グラウンドにて少年ラグビー交流大会を開催しているが、主催者・参加者及び通行人に対してさくら祭りに合わせて交流大会を開催していることに対してより一層認識を深め一体感を醸成するために横断幕を作成し掲示する。
具体的内容	今田平手作り芝生グラウンドは桜街道のある堤防より低いところにある。そのため、グラウンド面と同じ高さに横断幕を設置しても近くにいる選手たちに隠れてしまい上手く見えない場合が多い。 従って、当初グラウンド面より高いところに掲示するために単管パイプの中で最も長い部類に属する6mのものを使用しその上端に横断幕を掲げるようにする。また、転倒防止用に2mのパイプで基を補強するように計画したが、実際に設置してみると風の影響を受けて倒れる恐れがあると判断し、高さ2mで横長にすることに変更した。 周知を図るとともに気分を高めるために4月第一週より横断幕を設置する。



説明	横断幕
----	-----

説明	パイプの設置
----	--------



説明	ゲームの様子
----	--------

説明	集合写真
----	------

取組の経過	天竜峡八重桜街道さくら祭りに大勢の人が集まる一環として少年ラグビー交流大会を開催していることを、地元住民・通行人に広く知ってもらうことに加え、参加者に自覚してもらえることが期待するとともに、周知を図り気分を高めるために4月3日(土)に設置した。 また、凶らずも少年ラグビー交流大会の翌日(25日)にはやまびこマーチが行われたため、その参加者にも見ていただくことが出来た。
取組の効果	天竜峡八重桜街道さくら祭りに大勢の人が集まる一環として少年ラグビー交流大会を開催していることを、地元住民・通行人に広く知ってもらうことに加え、参加者に自覚してもらえた。
今後の取組	*少年ラグビー交流大会に参加するチーム数を増やす。 昨年度自前により芝生グラウンドを拡張したことでゲーム数を増やすことが出来る。 *例年と異なったチームを呼ぶこと及び春以外の時期にも交流大会を開催することにより、桜街道・今田平手作り天然芝グラウンドを広く周知し来飯・観光促進につなげる。 *大会開催にあたって、地元の苺はもとより梨・葡萄・林檎の収穫体験を実施できるように地元生産者と共同し取り組む。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		95,355
うち助成金		59,000
主な経費内訳 (上位3項目)	横断幕	66,000
	単管パイプ一式	29,355

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	子どもの農育・食育・居場所づくり
団体名	はなぶさ村農園
代表者氏名	佐藤智英
地区名	飯田市北方

取組みの目的

最近では子どもたちの農業への関心が薄くなっており、土に触れ作物を栽培する機会が減ってきています。そこで、野菜作りを通じて農業の楽しさや知識を伝える活動をしていきたいと考えました。また、参加することで大人やこどもの垣根をこえコミュニケーションをとり社会性を学べる場所を作りたいと考えました。そのために、こどもと大人が一体となり、土づくりから収穫までの作業をし、自分達で栽培した野菜を食べるまでを体験できる活動を行います。また、自分たちの栽培した野菜を販売していく活動も行い、栽培から消費までの仕組みを学ぶことができる体験活動に取り組みます。

- 具体的内容
- ・種まきや苗の定植、除草作業、収穫までの農作業体験
 - ・収穫した野菜の販売ルートの確立
 - ・収穫した野菜を使用した、収穫祭
 - ・収穫した野菜の販売体験
 - ・子供食堂を実施している団体に野菜の無償提供
 - ・農業技術向上のため、地域農家の方との情報交換
 - ・どんどやき・登山などのレクリエーション



説明 サツマイモ定植方法の説明



説明 ブルーベリー収穫体験会



説明 子ども食堂に野菜の無償提供



説明 大根収穫体験の様子

取組の経過	4月11日	じゃがいも定植体験	参加人数	13人 (大人12名、子供14名)
	4月29日	カブトムシ幼虫採取体験	参加人数	20人 (大人8人、子供12名)
	5月16日	サツマイモ定植体験	参加人数	13人 (大人7名、子供6名)
	6月6日	玉ねぎ収穫体験	参加人数	14人 (大人7名、子供7名)
	6月18日	子ども食堂に収穫できた玉ねぎを提供(ハッピーハウス(飯田市))		
	7月18日	じゃがいも収穫体験	参加人数	17人 (大人7名、子供10名)
	8月16日	じゃがいも収穫体験(ハッピーハウス学童の授業として活用) 参加人数10人 (大人5名、子供6名)		
	9月23日	笠松山登山	参加人数	8人 (大人4名、子供4名)
	10月17日	サツマイモ収穫体験	参加人数	12人 (大人7名、子供5名)
	10月19日、26日	子ども食堂に収穫できたサツマイモを提供 (ハッピーハウス(飯田市)、NPO法人Hug(松川町))		
	11月14日	市田柿収穫体験	参加人数	11人 (大人7名、子供4名)
	11月21日、26日	大根収穫体験 参加人数 20人 (大人11名、子供9名) 子ども食堂に収穫できた大根を提供 (ハッピーハウス(飯田市)、NPO法人Hug(松川町))		
取組の効果	<p>地域の子供や大人たちが一緒になり、農作物を栽培する楽しさや収穫する喜びを共有することができました。</p> <p>また、体験会に集まった子供たちや大人たちのコミュニケーション作りの場所にもなれたと思います。</p> <p>さらに、荒れた遊休農地を畑として活用することで、遊休農地削減に取り組みことができました。</p> <p>少量ではありましたが、収穫できた野菜を子供食堂に無償配布することで子供食堂の支援にもつなげることができました。</p> <p>飯田市下伊那特産の市田柿の栽培にも取り組み、その過程で地場の特産物や地域の伝統野菜について子供たちと一緒に学ぶことができました。</p>			
今後の取組	<p>来年度は、さらに参加者を増やし子供の居場所作りや食育を学べる場所として貢献していきたいと思っています。</p> <p>また、農作物栽培体験を通じて土に触れる機会を多く提供し、野菜がどのように栽培されているかを伝え、食物の大切さを伝えていきます。</p> <p>さらに、今年度の経験を活かし、野菜の栽培技術の向上や伝統野菜の栽培に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、野菜の付加価値を高めるための方法を学ぶため研修視察などを計画したいと考えております。</p>			

○取組経費 (単位:円)

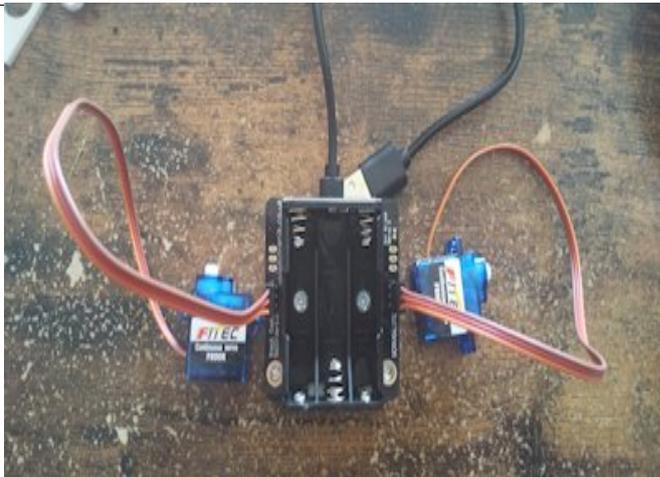
事業費総額(見込み)		427,630
うち助成金(見込み)		280,000
主な経費内訳 (上位3項目)	肥料・苗・種費用	191,000
	農業機械関係導入費用	113,270
	コロナ対策費用	44,070

取組名称	子どものためのプログラミングとロボット大会の開催
団体名	NPO法人 もりの学校
代表者氏名	小林 俊二
地区名	山本

取組みの目的	昨年度のプログラミング及び理科実験及び算数教室を継続し行い発展させていく。プログラムの力が徐々についてきており、パソコンの中でゲームのプログラムを作ることもしだんだんできるようになってきている。そこで、その発展として、実際に物を動かすロボットプログラミングの学習を行い、最後にはロボット大会を行い、プログラミングの面白さを広めていきたい。
具体的内容	毎月の山本公民館でのパソコンクラブをおこなう。クラブのためのプログラムの仕方を書いたインターネットページを作成し、利用する。また、それをインターネットで公開する。100プログラムを目指して、現在66種類のプログラムを作成し公開中。ロボットプログラムも行う。これについても、利用するインターネットページを作成し、公開していく。



説明 小学校でのプログラムクラブで



説明 ロボット材料



説明 プログラミング教室8スクラッチ



説明 プログラミング教室(ロボット操作)

取組の経過	<p>月2回のパソコン教室 04/11 パソコン教室(マイクロビット:温度計、スクラッチ:ボールをける サッカー) 04/18 パソコン教室(スクラッチでゲーム作成 ボールを打つ2回目 野球) 05/09 パソコン教室(スクラッチ宇宙船を打ち落とせ、紙で昆虫) 06/13 パソコン教室(スクラッチ & マイクロビット:タッチゲーム) 06/26 パソコン教室(工作:きつつき スクラッチ(ネコジャンプ)) 07/11 パソコン教室(ロボットMOVEmini組み立てとLED点滅) 07/30 パソコン教室(ロボット用プログラム)</p> <p>以下、毎月、教室用教材を作成しながら、子どもたちと様々なプログラムを行ってきている。さらに、パソコン教室を行うたびに準備した教材などは、インターネット上に公開し、誰でも利用できる状態になっている。 この活動を契機に、山本小学校でプログラミングクラブをおこなうようになり、そこへ指導者として参加した。</p>
取組の効果	<p>参加者が友達を誘い、助成金によりパソコンの購入もできて、参加者が増えてきている。参加している子どもは、用意した教材だけでなく、自分で工夫して自分のプログラムができるようになってきている。 ロボットについては、なかなか作成が難しく、徐々に内容を付け加えているが、更に工夫が必要になっている。 大阪などに協力者ができ、他県ともつながって、参考になる資料をいただけるようになってきているので、今後更にプログラムの内容を充実させていきたい。</p>
今後の取組	<p>今後も月2回のペースでプログラミング教室を行っていく。 また、山本小学校のクラブの補助など、山本教室以外での活動も行っていく。 さらに、教室を行いながら、誰でも使えるプログラミングページを作っているが、これも全国で利用されるようになっていくだろう。 その中で、スクラッチのプログラミングや、マイクロビットのプログラムになれていく。 さらに、モーターを回したり、音を鳴らしたり、オシロスコープを作ったり、金属探知機を作ったりなどのプログラムや道具の製作を行っていく。 現在遠隔操縦して動く車を作っている最中で、これにもう少し時間がかかる予定である。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		340000(見込み)
うち助成金(見込み)		239000(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	パソコン購入	110,000
	ロボット購入(材料費)	140,000
	サーバーレンタル及びwifi用	77,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	県地区地域コミュニティ情報発信事業
団体名	県地区まちづくり委員会
代表者氏名	安田 完爾
地区名	県

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動や各種団体の活動など地区での暮らしに関する情報を継続的に発信できる環境を整え地域内外へ広く周知・連携することで、地域の暮らしや活動への理解を促進し、人口増加、組合加入率の向上、移住・定住の促進につなげることを目的とする。 ・コロナ禍でお互いに接触できない環境でも情報発信・共有できる場を整備することで、人とのつながりを強める機会を創出する。
--------	---

具体的内容	<p>1. 地域コミュニティ情報発信媒体として「県地区ホームページ」開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会広報部会内に特別委員会を設置。委員長(広報部長が兼任)、壮年団、事務局計5名で組織。 ・単に情報発信する媒体としてだけでなく、住民が見に来たい、利用したいと感じるような魅力的なホームページづくりを目指す。 ・県で暮らす「人」、県での「暮らし」にフォーカスしたホームページづくりを目指す。地域で暮らす人が親しみを持てるよう身近な情報を提供し、かつ地域外の人が県地区での暮らしをイメージできるようなコンテンツを盛り込み移住・定住の促進を図る。 ・地区情報が手に入れづらい組合外の地区住人に対しても、県地区の暮らし情報や行政・防災情報を掲載したホームページづくりを目指すことで、県地区で暮らすことへの不安感を減らすとともに、地区活動への理解の促進を図る。 ・まちづくり委員会および10地区に情報更新担当者を配置。 <p><コロナ対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体以外による情報伝達手段として県地区ホームページを開設する。 ・作業用端末の購入・まちづくり委員会専用のインターネット環境を整備。
-------	--



説明 県地区のホームページトップ画面



説明 ホームページ開設のチラシ



説明 各地区更新担当者への説明会



説明 南信州新聞12/17号より

取組の経過	<p>令和3年 4月～9月 ホームページコンセプト・デザイン検討</p> <p>8～9月 各地区更新担当者選任</p> <p>11月上旬～中旬 各地区更新担当者説明会及びホームページへのアップロードテスト</p> <p>12月1日 ホームページ公開 QRコード入りチラシの配布等による県地区住民への周知</p> <p>12月中旬 取材対応によるホームページ作成の周知 (南信州新聞、信濃毎日新聞、飯田ケーブルテレビ)</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報を自由に発信できる場を作ったことで、県地区内で活動している団体の活動を細かく発信することができるようになり、より地区活動に対する組合外を含めた地域住民の理解や参加意欲の促進が期待できる。 ・県に住む人に着目したサイト構成にしたことで、県に住むイメージを県地区外の人々が持つような構成となった。また、シンプルでスマートフォン等でも見れる構成を心掛けたことで、高齢者にも若い層にも受け入れやすく、閲覧しやすいデザインになった。 ・コロナ環境下で、人との接触もなく地区情報も届かない人々に、情報を届けられる環境を整えられたことで、孤立してしまう環境を少しでも減らせるものと期待できる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な情報発信ができる環境を構築するため、各地区の更新担当者を含めた情報発信できる人を増やしていく。 ・地域情報を発信するポータルサイトとしての機能は整いつつあるので、今後は地域内の伝統や謂れといったローカルな情報も蓄えるアーカイブとしての役割にも少し着目していく。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		649,000
うち助成金(見込み)		219,000
主な経費内訳 (上位3項目)	県地区ホームページ制作業務委託	473,000
	ホームページ更新環境整備(編集機材等)	115,500
	ホームページ維持管理費(年間)	60,500

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	猿庫の泉保存と野点運営活動
団体名	猿庫の泉愛護会
代表者氏名	代表代行 代田康弘
地区名	飯田市 上飯田

取組みの目的	泉の保存滑動として登山道の整備、周辺、施設の大掃除。野点運営5月～10月の毎週日曜日10時から実施
具体的内容	泉の保存活動として、石積からの漏水保全の為防水実施。周辺景観整備として、山肌にアジサイの植樹、四阿、野点提供広場周りにリンドウ、ヒメシヤガなどの山野草植樹。駐車場入口に立てる野点看板製作。大平街道多摩川精機入口から泉までののぼり旗設置用パイプのガードレールへの取付



説明

アジサイ植樹風景



説明

アジサイ植樹風景



説明

のぼり旗設置用鉄管



説明

丸山小30人野点体験

取組の経過	4月のぼり旗設置用パイプの取付を実施。4/7アジサイ植樹と大掃除、11/14登山道整備、12/3大掃除
取組の効果	のぼり旗用パイプの設置により1人でのぼり旗20本の設置ができ、また時間短縮になった6月から7月にかけてアジサイ、シャクナゲが花をつけ、また山野草も花が咲いて泉周辺が華やかになってきた。
今後の取組	登山道の急な箇所到手すりを設置したい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	314,138
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	アジサイ、山野草の植樹	209,770
	泉石積み漏水処理	72,600
	野点看板製作	13,200

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト
団体名	丸山まちづくり委員会
代表者氏名	渡邊 嘉藏
地区名	丸山

取組みの目的	<p>リニア中央新幹線や三遠南信自動車の開通による交流人口の増加を見据えて、観光客(主に登山客)を受け入れる体制づくりに取り組む。また、次世代を担う若年層の参加を呼びかけ体験することで、郷土愛や誇りを高め将来この地に還って来たいと思える地域づくりや新たな魅力ある資源づくりに取り組み、それらを活用した交流・定住につなげる。</p>
--------	---

具体的内容	<p>○平成30年3月に植樹したヤマザクラの管理として作業歩道(将来の遊歩道)の整備、忌避剤散布を行う。丸山の花「カワラナデシコ」を地域の行事がある時に、住民の方々に配布し丸山の花だと周知してもらう。</p> <p>○次世代を担う若年層の郷土愛や誇りを高めるために、小学生を対象として、風越山麓公園でのツリークライミング(木登り)の体験を実施する。</p> <p>○快適な環境を守るためのツールの一つである携帯トイレの試供品の配布を行う。携帯トイレ・専用テント、便座の使用方法について、風越山への登山を計画している地域の小学校を対象に出前講座を開催し普及啓発活動を実施する。尚、小学生の登山にはPJメンバーが同行して、専用テントを設置して実際に携帯トイレを使用してもらう。</p> <p>○ワークショップ(地域活性化に向けた学習会等)を開催する。</p>
-------	---



説明 ブルーベリー圃場整備



説明 小学校事前学習(携帯トイレ普及啓発)



説明 風越山登山同行



説明 夕源平ヤマザクラ種採取

取組の経過	<p>4月2日～11月13日(8日間) ブルーベリー圃場草刈り及び雑草の根の除根 4月13日～12月13日(7回開催) 役員会 4月24日～11月21日(6回開催) ワークショップ 4月24日 カワラナデシコポット移植作業 5月16日 風越山麓公園で遊ぼう(雨天中止) 5月22日 椎茸原木移動運搬作業 6月1日 会報(第3号)発行 6月11日 丸山小学校風越山登山事前学習会(携帯トイレ出前講座) 6月13日 ヤマザクラ種採取、挿し木作業、ボランティア募集 6月14日～7月4日 カワラナデシコ地区内配布 6月18日 丸山小学校風越山登山同行(携帯トイレ使用) 7月8日 NPO法人立ち上げ学習会 9月8日 プロジェクト方向性アンケート実施 9月26日 ツリークライミング体験(中止) 10月20日～ きのこ収穫 10月24日 風越登山マラソンおもてなし事業(大会中止) 10月24日 椎茸原木移動運搬作業 11月5日 丸山まちづくり委員会三役会議打合せ 11月22日 ブルーベリー移植 11月27日 夕源平現地確認 以下実施予定 1月～3月 ワークショップ及び役員会 3月 ヤマザクラ播種</p>
取組の効果	<p>○既存の地域資源の活用と新たな地域資源の創出により魅力ある地域とすることで、交流人口の増加、さらには移住・定住に向けた地域づくりに繋がる。</p> <p>○将来を担う子どもたちも参加する世代を超えた地域ぐるみの活動により、地域コミュニティが深まるとともに、将来この地域に還ってきたいと思えるような郷土愛を育むことに繋がる。</p>
今後の取組	<p>○事業主体である「未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト」は、現在、丸山まちづくり委員会の専門委員会に準ずる位置づけであるが、将来的には、まちづくり委員会から独立した組織を目指し、事業を継続していくための体制づくりに取り組んでいく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		216,000
うち助成金(見込み)		151,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ブルーベリー管理費	61,000
	山林整備費	46,000
	携帯トイレ普及啓発費	40,000
	その他	69,000

取組名称	千代の明るい未来を描く～第4次千代地区基本構想計画の策定
団体名	千代地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 関口 俊博
地区名	千代地区

取組みの目的	<p>本年度がスタートの年となる第4次基本構想では、千代地区の地域づくりの基本理念として、「千代地区の最大の誇りは、目の前に広がる豊かな自然と、ここに暮らす私たち自身です。日本の原風景、日本の田舎という言葉がぴったりの千代地区の今後を考えるうえで、私たちは、飯田市で1番の、日本で1番の、という地域を思う心を持ち、人と人とのつながりを大切にし、千代の未来に向け、次に掲げる地域を目指します。」と謳われている。</p> <p>そこで、多くの千代地区住民が本構想を共有するとともに、基本構想につながる自分自身の取組を実施することとし、10年後の千代の明るい未来の姿を地区内で共有するとともに、千代が元気であり続けるための方策を皆で考え、地域住民が一体となって地域づくりを進める機運の醸成を図る。</p>
具体的内容	<p>○第4次千代地区基本構想の主な内容が1枚でわかるポスターを作成し、各戸配布を行い、地区住民に周知を図る。</p> <p>○基本構想に謳われている地域を目指すため、第4次千代地区基本構想推進シートを作成し、各戸配布を行い、千代地区の住民一人一人、各団体、各組織が、具体的な取組につなげる。</p>

千代地区基本構想
第4次 2021～2030年度

第4次千代地区基本構想の基本理念

千代地区の最大の誇りは、目の前に広がる豊かな自然と、ここに暮らす私たち自身です。日本の原風景、日本の田舎という言葉がぴったりの千代地区の今後を考えるうえで、私たちは、飯田市で1番の、日本で1番の、という地域を思う心を持ち、人と人とのつながりを大切にし、千代の未来に向け、次に掲げる地域を目指します。

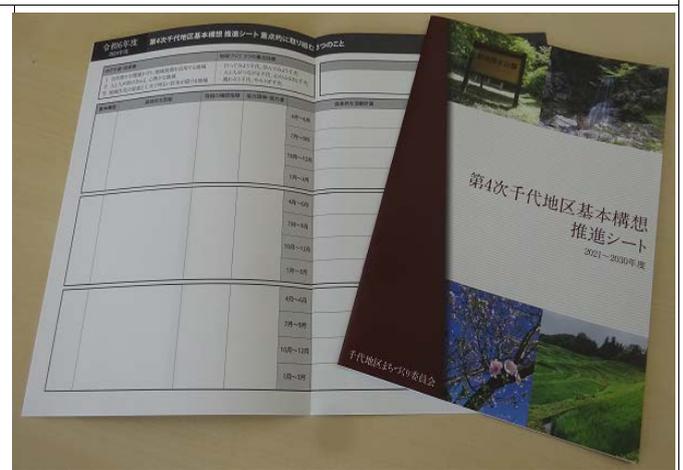
めざす姿・将来像

- 自然豊かな環境を守り、地域資源を活用する地域
- 人と人が助け合える、心豊かな地域
- 地域住民の総意と工夫で明るい未来を描ける地域

地域づくり 3つの重点目標

- 行ってみよう千代、住んでみよう千代
快適な環境で暮らせ、誇りをもてる地域づくりを進めます。
- 人と人がつながる千代、心のふるさと千代
誰もが安心、安全に暮らせる地域づくりを進めます。
- 関わろう千代、やろうぜ千代
千代地区すべての住民が、何らかの形で地域にかかわる地域づくりを進めます。

千代地区まちづくり委員会



説明

基本構想推進シート



説明

具体的な取組(よこねたんぼ保全活動)

取組の経過	令和2年度 基本構想を策定し、ポスター及び推進シートを作成することを決定 4月18日 執行部会にて基本構想推進シートに基づき各部の取組を確認 7月18日 執行部会にて基本構想推進シートに基づき各部の取組を確認 7月18日 執行部会にて各戸配布予定の基本構想ポスター及び推進シートについて協議 8月 各戸配布するポスター及び推進シートの作成 8月23日 ポスター及び推進シートを各戸配付 10月7日 市長と語るまちづくり懇談会にて、各部の取組及び中間評価をシートに基づき協議 1月18日 執行部会にて基本構想推進シートに基づき各部の取組を確認 3月11日 執行部会にて各部の取組及び年間評価を推進シートに基づき協議
取組の効果	○千代地区の基本構想を地区全体で共有することで、地域への愛着や誇りに繋がっている。 ○千代地区の住民が基本構想に繋がる具体的な取組を検討、実施することで、自分たちの地域を自分たちで考え、行動する「ムトス」の地域づくりに繋がっている。 ○まちづくり委員会の各部が、基本構想のめざす地域像につながる具体的な取組を検討、実施しており、それに対する状況を推進シートで確認している。
今後の取組	○今後は各自の具体的な取組を、地域全体で共有できる場等の設置を検討し、さらなる取組に繋がりたいと考えている。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	254,650
	うち助成金(見込み)	178,000
主な経費内訳 (上位3項目)	基本構想ポスター、推進シート印刷	254,650

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	獅子舞演舞の継承と羽場獅子舞保存会の存続
団体名	羽場獅子舞保存会
代表者氏名	相津良彦
地区名	羽場地区

取組みの目的	<p>本会は明治41年の初披露から113年の歴史があり地元から「権現堂の獅子」として慕われている。現在、羽場地区住民を中心に75世帯130名ほどが地区事業や学校区の丸山小学校の授業の一環に携わり演舞披露や演舞指導などで活動を行っている。中でも、未就学児から中学生までの子ども育成部の会員への技術継承に力を入れている。年間を通じて毎週金曜日に2時間程度の定期練習を設け研修部会員から獅子頭の舞や大太鼓・小太鼓の演奏の指導をし後世への伝統芸能の継承に努めている。</p>
具体的内容	<p>毎年4月に元山白山神社春季祈年祭町内巡行をはじめ、9月には地区の敬老会で子ども獅子演舞披露、10月は南信州獅子舞フェスティバル参加、11月は地区文化祭オープニングセレモニー、1月は元山白山神社元旦祭・地区新年会・成人式での祝舞披露など年間を通して活動を行っている。また2021年度は丸山小学校より依頼があり4年生総合学習とかざこしタイムにて伝統芸能の紹介と獅子舞の演舞指導を月1回程度約半年に渡り行ってきた。更に近隣地区との交流として、2022年3月には丘の上3館の交流会にも参加し演舞を披露する予定である。</p>



説明 2021年7月 丸山小学校4年生総合学習



説明 2021年5月 丸山小学校かざこしタイム



説明 2021年10月 南信州獅子舞フェスティバル



説明 2021年4月 元山白山神社春季祈年祭

取組の経過	<p>コロナ禍で毎週金曜日の定期練習もままならず、密を防ぐ為にも短時間で少人数の練習を余儀なくされている。子供たちにとっても、せっかく覚えた舞や演奏も練習時間が空きすぎていることから忘れてしまう。今回、演舞の様子をDVDに録画することにより家庭での自主練習が可能になると考えた。また、会員数の減少、指導者の高齢化などで詳細な技術や伝統を継承していくには不安がある。画像を残すことにより指導者がいない場合でも舞の見本を示すことができたり、今後のPR活動として画像を配信したりと様々な運用方法も考えられる。現時点においては、映像録画し編集を行っている最中である。後世に残せる財産として期待している。</p>
取組の効果	<p>現在DVD編集作業中の為、取り組みの効果確認はできていないが、当初の計画通り会員に配布することにより自宅での自主練習が可能になり練習時間の減少を補うことができると考える。</p>
今後の取組	<p>会員への配布以外にも公民館などにDVDを置き地区住民にも気軽に閲覧してもらい羽場獅子舞保存会の存在と活動を幅広く知ってもらおうきっかけにしたい。また、ホームページを新規作成・運用し動画配信することで認知度を高め新規会員募集に繋がる効果を期待したい。強いては羽場獅子舞保存会の存続と発展にも繋がる。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	80,000
	うち助成金(見込み)	56,000
主な経費内訳 (上位3項目)	DVD、CD-R作成・編集・焼き増し代	56,000
	備品購入(見込み)	24,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡「花の里推進活動」
団体名	天龍峡温泉観光協会 天龍峡アヴニール倶楽部
代表者氏名	牧内 健
地区名	川路天龍峡

取組みの目的	天龍峡は天龍峡大橋が完成し、観光客が飛躍的に増えることが予想されておりますが、地元にとって天龍峡大橋のみを見て帰ってしまうお客が多いことが懸念されております。何とか工夫をして、姑射橋付近まで下りてきていただき、本来の天龍峡を楽しんで頂き、その結果として天龍峡の街が活性化することを大きな目標として活動しております。
具体的内容	天龍峡の魅力をアップさせ、天龍峡大橋を訪れた観光客に景勝地まで下りて来て頂く為に下記の活動を実施しました。 1. 天龍峡が誇るポットホルの説明看板及び、長野県指定天然記念物の「ねずみさし」の説明看板が破損しているため、新規に設置しました。 2. 月1回の定例作業にて、天龍峡公園の下草刈り、樹木剪定を行いました。 3. 歌に歌われた岩間つつじが川岸に少なくなってしまうので、飯田市林務課支給のみつばつつじを川岸に植栽しました。 4. 姑射橋から上流を眺めた時に映える様に、天龍川上流に菜の花を栽培し、その説明用看板を2か所に設置しました。



説明 天龍峡公園満天星ツツジ剪定作業



説明 天然記念物ねずみさし看板設置作業



説明 菜の花畑整備作業



説明 菜の花畑説明用看板設置

取組の経過	<p>上記活動を推進する為に、月1回の会員による定例作業を行いました。更に菜の花育成に関しては、川路菜の花愛護会の指導を受けながら、龍峡中学生徒及びシニア大学41期生の有志の協力を得て広大な菜の花畑の造成を行っております。</p> <p>①2月：天龍峡ナイトミュージアム警備協力 ②3月：北駐車場一帯の草刈り実施 ③4月：天龍峡第1公園一帯の満天星ツツジ剪定 ④5月：ツツジ橋付近にミツバツツジ30本植栽 ⑤6月：天龍峡「龍の夜マーケット」竹宵用竹の切り出し ⑥6月：天龍峡「龍の夜マーケット」竹宵制作 ⑦7月：北駐車場一帯の草刈り ⑧8月：菜の花畑草刈り ⑨9月：菜の花種まき（龍峡中学生徒、シニア大学41期、川路菜の花愛護会と協働作業） ⑩10月：天龍峡公園草刈り ⑪11月：ポットホール、ネズミサシ、菜の花説明用看板設置 ⑫12月：天龍峡ナイトミュージアム会場下枝剪定</p>
取組の効果	<p>1. 各種看板の設置に関しては、立派な看板を設置出来ましたので、今後のPR効果を期待しております。</p> <p>2. みつばつつじの植栽に関しては、険しい峡谷内に30本移植しましたが、厳しい環境の為どのくらい育つか不明ですが、息の長い計画として取り組んで参ります。</p> <p>3. 菜の花の育成に関しましては、令和4年4月頃には美しい花が咲くと期待をしております。近くの幾島桜と花の咲く時期が同じであり、観光客の目を楽しませてくれると期待をしております。</p> <p>4. 遊歩道の整備、下草刈りは、膨大な公園であり、限られた人数での作業では回りきっておりませんが、観光客に喜んで頂ける様に継続して実施して参ります。</p>
今後の取組	<p>「天龍峡アヴニール倶楽部」を中心に天龍峡の魅力UPに向けて下記の活動を継続して推進して参りたいと考えております。</p> <p>1. 天龍峡の隠れた観光資産を世に売り出す計画を進めて参ります。</p> <p>2. 山桜の植栽に関しては、時間がかかる為、諦めずに計画を進めて参ります。</p> <p>3. 岩間つつじの植栽に関しては、苗の育成が課題であり、次年度計画したいと思います。</p> <p>4. 菜の花の植栽に関しましては、天龍峡一帯だけではなく、花の里推進活動の一環として拡大を模索して参ります。</p> <p>5. 遊歩道、公園内の整備活動は継続して進めて参ります。</p> <p>6. その他「天龍峡ナイトミュージアム」への協力等、天龍峡の魅力UPとその発信を会員の英知を集めて計画化して参りたいと考えております。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		435,045円
うち助成金(見込み)		300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	菜の花他説明用看板代金	214,500円
	培養土、肥料代	137,822円
	菜の花種代	30,000円
	その他	52,723円

取組名勝	遊休農地でブルーベリー栽培を行ないます
団体名	NPO法人飯田ブルーベリー振興会
代表者氏名	清水 實
地区名	川路

取組みの目的	<p>過去5年に渡る栽培研究学習の実践による確認と遊休農地の解消のため、新たに地区民からブルーベリー栽培の希望者を募り、新規栽培者を中心にして栽培の実践を行います。</p> <p>最近、川路では新規住宅が多く建設されるようになりましたが、川路には遊休農地が多くあります。また、農業者も高齢化してきており後継者不足も問題であり、遊休農地はどんどん増えています。このような場所でブルーベリーの栽培を行い、遊休農地の解消と栽培研究学習成果の実践を行います。</p>
具体的内容	<p>ブルーベリーは健康果樹と言われており、人気の高く気軽に栽培できる果物だと見られています。しかし、実際に栽培してみると、何年経過しても木が成長しないで収穫ができない。という例を多く見かけます。</p> <p>ジャガイモ等の家庭野菜のように、ブルーベリーも気軽に簡単に栽培できる家庭果樹になれば嬉しい事だと思い、栽培研究を行ってきました。</p> <p>今回は、遊休農地で既に栽培され収穫も充分行われている農園をモデルにし、他の遊休農地で新たな栽培方法で学習成果を実践していきます。尚、主要な事業費は栽培に使用するピートモスとなり、苗は挿し木で育てた物70本を使用です。</p>



家族を含め約20名で植え付け作業



植え付けにはピートモスを使用



木材チップを被せる作業



植え付け苗70本

取組の経過	<p>[平成27年から毎年行っている事業] 毎月1回ブルーベリー栽培体験教室を行ってきました。 植え付け、剪定、挿し木、接ぎ木、防虫対策、除草対策等の講習 [H27年12月20日] 粘土質土壌での栽培試験報告会を実施 [H29年2月29日] ブルーベリーピザの製作実習と試食会 [H29年5月9日] ブルーベリー緑化祭にて苗木の無料配布 [H29年7月1日] 管理栄養士によるブルーベリーガレット料理教室 [H30年6月17日] 売木村の観光農園を視察 R3年のムトス飯田助成事業から取り組んでいる内容 遊休農地へのブルーベリー植え付け</p>
取組の効果	<p>遊休農地は草が伸び放題となり、地区の景観を悪くしています。この取り組みによって、農地が管理され地区の景観が良くなります。 住宅の直ぐ近くには農地があり、野菜や果物がすぐ収穫できる。そんな豊かで、楽しく、心地良い生活をして欲しい。自然に触れる、農に触れる事で穏やかな気分になり、地区民との付き合いも穏やかなる、と思っています。 ブルーベリーも身近な果樹となって、気軽に栽培できるようになる事を望んでいます。</p>
今後の取組	<p>私達はブルーベリーが専門であり、栽培知識も充分有ると思っています。しかし、家庭で栽培されている野菜等は種類も量も多く、ブルーベリーは一部でしかありません。よって、野菜農家とも協調して遊休農地の解消に努めて参りたいと思っています。 ブルーベリー苗は、できるだけ無料配布できるようにするため、私達は挿し木で苗を作っており、今後も続けていき、栽培者を増やしていきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		160,000
うち助成金(見込み)		112,000
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(栽培資材購入等)	600,000
	事業費(栽培機材購入等)	300,000
	事務費(印刷費、プリンターインク等)	200,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	立石区祇園祭
団体名	立石区祇園祭
代表者氏名	玉置 昌平
地区名	飯田市立石

取組みの目的	約220年にも及ぶ立石区最大の行事である「立石区祇園祭」を、絶やすことなく後世に傳承して行くことを目的としています。 少子高齢化による後継者不足により、笛・三味線・太鼓の演奏者及び囃子舞等の若手の人員不足を解消するとともに、三味線・太鼓の破損や経年劣化、獅子頭等の老朽化を修繕・更新をして、盛大な祇園祭を継続開催し地域の活性化に繋げていきます。
具体的内容	立石区に祭られている津島神社、三峰様、水神様、龍神様の神事を厳粛に執り行い、主要道路及び津島神社付近にて、笛・三味線・太鼓の演奏者の乗るお囃子の屋台と獅子が盛大に練り歩き、要所にて獅子舞及びお囃子の披露、奉納神楽の舞などが演じられます。 打上げ花火、奉納煙火、仕掛け花火、さらに大三国にて幕を閉じるという立石区執行部が中心となって区民あげての最大の行事です。



説明 お囃子の屋台と獅子舞



説明 奉納煙火



説明 津島神社(神事)



説明 後継者育成(子供参加)

取組の経過	<p>3月14日 立石区執行部の引継会(前年度→今年度) 3月27日 コロナ禍での開催検討会(規模縮小で開催決定) 4月4日 縮小内容検討・決定 4月27日 祇園祭実行委員会への説明等 5月5日 祇園祭備品の確認、修理提出等 7月上旬 祇園祭奉納・打上げ煙火に係る打合せ(煙火業者と) 7月4日 祇園祭に係る立石区集会所周辺等の掃除 7月17日 立石区祇園祭前日準備 7月16日 立石区祇園祭 7月18日 立石区祇園祭片付け 8月19日 祇園祭実行委員会経過報告等 ※ 以下実施予定 2月中旬 祇園祭備品の再確認 3月中旬 立石区執行部の引継会(今年度→来年度)</p>
取組の効果	<p>今年度につきましてはコロナ禍の真ただ中ではありましたが、約220年継続している立石区祇園祭を絶やすことなく、最小限の人員にて神事のみを厳粛に執り行い、残念ながら獅子舞やお囃子の披露、及び奉納神楽の舞などについては省略しました。また打上げ花火のみを盛大に行い、地域住民は基より立石地区外へも広報し、立石区祇園祭を広く知っていただくよう取り組みました。(コロナ禍を考慮しつつ実施)</p>
今後の取組	<p>約220年継続している立石区祇園祭を絶やすことなく、神事を厳粛に執り行い、獅子舞やお囃子の披露、及び奉納神楽の舞など演じ、後世に伝承していくこと目指します。また打上げ花火、奉納煙火、仕掛け花火さらには大三国を盛大に行い地域住民は基より地区外へも広報し、立石区祇園祭を広く知っていただくよう取り組みたいと思います。(コロナ禍を考慮しつつ) また、終息に向かえば、獅子舞やお囃子の継承(1対1の個人レッスン、子供含む)などを考慮しています。さらにムトス飯田推進事業を活用させていただきまして、道具等の修繕を行い備品管理に努めます。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	274,000
	うち助成金(見込み)	191,000
主な経費内訳 (上位3項目)	三味線の皮張替	154,000
	祭用提灯の張替	99,000
	祭飾り用赤提灯	21,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	佐倉さまの眺望は良いぞ
団体名	佐倉さま桜まつり実行委員会
代表者氏名	宮下 博
地区名	飯田市 北方

取組みの目的	<p>本会は、北方佐倉公園における南アルプスの眺望や緑豊かな自然環境を整備、保全することを基本におき、身近な里山として環境整備を推進するとともに、桜まつりを通じて北方地域内外にその魅力を発信することにより、地域資源の有効活用による活性化を推し進める中で、伊賀良地区の発展に寄与することを目的とする。</p>
具体的内容	<p>桜まつりにおける事業会議 4月桜まつり開催 森林空間整備作業(下草刈り・桜の管理・) 良好な景観維持と自然環境保全の推進 地域の各種団体との交流会合</p>



説明

桜まつり開催風景



説明

コロナ対策 アルコール



説明

桜まつり旗



説明

佐倉公園の桜とミツバツツジ

取組の経過	飯田市内では、沢山の桜の名所があり、お祭りが開催されております。その中で、佐倉公園は非常に傾斜地にある公園であります。その分、南アルプスの眺望や飯田市街地を見渡すには、素敵な場所であるというのと、昔は、佐倉さまが桜の名所でお花見がされてたということでした。なんとしても、以前の賑わいとまではいかなくても、佐倉公園の名所の復活に佐倉公園で桜まつりを行おうと思い、現在、第4回まで開催することが出来ました。また、お祭り以外でも、保全活動を毎年実施しており、地元の大変な公園にみんなが協力してくださって佐倉公園を地元のみならず、全国に知られる公園になればと頑張ってます。
取組の効果	一年目の桜まつりから、年々と来場客も増え佐倉公園も認知されだしました。また、地元の各種団体も佐倉公園の管理(環境整備)等に参加していただき、以前の佐倉公園よりキレイになって参りました。桜開花時期には、県外ナンバーの車が、公園まで登ってこられるようになり、SNSによる効果も少しはあると感じます。
今後の取組	今後の取り組みとして、西部山麓地域全体で、南アルプスの眺望を活かしたイベント等を行なえば良いかと思われまます。佐倉公園だけでなく、沢城湖から梅ヶ久保公園、三和農園さんまでの広い西部山麓ラインを繋げるようにして、飯田の憩いのポイントにしていきたいです。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		403,078
うち助成金(見込み)		230,000
主な経費内訳 (上位3項目)	リース費	68,750
	行先看板	30,000
	コロナ対策費	12,000
	桜まつりチラシ	45,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	木工製品販売環境整備及び普及啓発事業等の推進
団体名	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師
代表者氏名	中島武津雄
地区名	飯田市下久堅

取組みの目的	<p>里山の間伐等による地域材を暮らしなどに利用してもらうことにより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2の削減 ・プラスチック廃棄物の削減 ・健全な里山づくり ・地域活性化 <p>につなげたい。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅ひさかたでは不可能な大径木を板挽きするため地元の製材所に依頼し製品に活用 ・製材加工施設木の駅ひさかたのPR用パンフの作成 ・ネットショップ開設のためのウェブページ作成委託 ・行政と民間が連携して開催する環境フェア等への参加協力 ・木工製品製作に必要な機材の整備



説明

里山の間伐



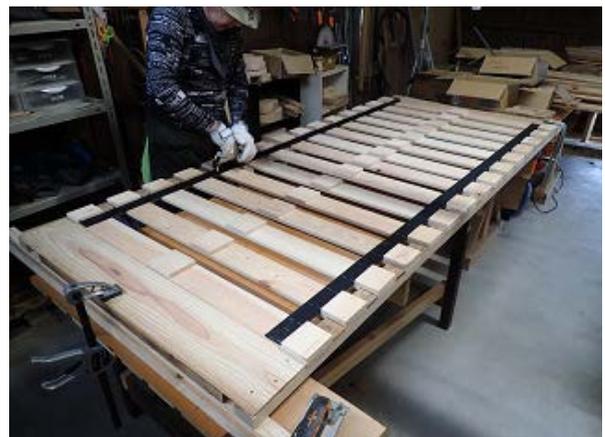
説明

板挽き用の大径木の運搬



説明

南信州環境メッセ出展



説明

納めた製品の例(キャンプ用スノコ)

取組の経過	<p>5月12日 第1回環境メッセ実行委員会 6月21日 第2回環境メッセ実行委員会 7月19日 第3回環境メッセ実行委員会 8月20日 第4回環境メッセ実行委員会 9月19日～9月26日 エシカルマルシェ参加 10月4日、10月27日 関西の中学生の薪割り体験受け入れ 10月15日 第5回環境メッセ実行委員会 10月28日 大径木の製材委託 10月末 木の駅パンフレット完成 11月27日、28日 里山の間伐作業 11月末 木の駅ネットショップ原案完成。年明けオープン予定 12月4日、5日 南信州環境メッセ出展</p> <p>上記他、年間を通じた製品作り</p>
取組の効果	<p>○大径木の板挽きによりテーブル等大型の製品需要に対する提供が可能となった。 ○南信州環境メッセは市民団体、事業者、行政など幅広い分野の参加を得て実行委員会を重ねてきた結果、50団体の参加により12月4日、5日に開催され、2050年ゼロカーボン社会の実現に向け地域一帯となって取り組む雰囲気づくりができた。実行委員長は山法師の中島理事長が務めたが、初年度としてはまずまずの成果だった。次年度以降も継続して取り組んでいきたい。 ○パンフレットは環境メッセでも来場者に配付したほか、木の駅を訪れる方にも今後配布するなど活動のPRに有効利用。 ○これまで木工成品の需要は南信州地域に限られていたが、ネットショップの立ち上げにより全国の消費者を対象に販売できる環境が整った。</p>
今後の取組	<p>○ネットショップを活かし、南信州地域の木の良さがPRできるような製品づくりを進めたい。 ○後継者の確保は難題であるが、Iターン者等にも声を掛けその育成に務めたい。 ○薪等広葉樹の需要が増えているが、間伐搬出に適した里山が少なくなっているため、地元関係者との連携でドングリの森づくりなども進めたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		441,788
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	製材委託費	97,211
	パンフ作成費	83,600
	ネットショップホームページ制作費	165,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	麻績の里おもてなし事業
団体名	麻績の里振興委員会
代表者氏名	委員長 筒井誠逸
地区名	座光寺

取組みの目的
 令和4年4月に開催される元善光寺御開帳に向けて、訪れた方へこの地域のPRとなるようなマップの作成と元善光寺参道(周辺)に花を設置しおもてなしをする。また、マップは地区内各家庭へも配布を行い、地域の魅力再発見と、地域全体でおもてなしの機運を高める。参道の花による演出は、御開帳前だけでなく、小菊の栽培を行うことで、秋にも元善光寺周辺に設置し、花いっぱいの地域づくりを目指す。

具体的内容
 (1)おもてなしマップの作成
 食事処、お土産処など魅(味)力の紹介と、地域の歴史文化を紹介する座光寺おもてなしマップを作成する。
 ○店舗、公共施設へ設置するほか家庭へ配布、ふるさと高陵会へ送付する。
 ○座光寺地域自治会ホームページに掲載し、地域内外へ発信する。
 (2)元善光寺参道(周辺)にフラワープランターを設置し参道の演出
 秋は、元善光寺周辺に小菊を設置する。
 御開帳前にフラワープランターを設置する。地元小学生と一緒に作業を行う。



説明 沿道に小菊を並べる



説明 小学生に小菊の苗を贈呈



説明 おもてなし事業の関係団体打合せ



前回の御開帳(平成26年度)にあわせ作成したのパンフレット

説明 前回のパンフレットをもとに作成

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・6月～ 小菊栽培 ・7月6日 座光寺小学校児童へ小菊の苗を贈呈 ・10月15日 おもてなし事業関係者打ち合わせ ・10月16日～ 小菊を元善光寺沿道に並べる ・10月中 パンフレット掲載店舗の募集 ・11月中 パンフレットの掲載内容の確認 ・12月中 パンフレット写真撮影他制作中
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加による地域振興や座光寺ファンの獲得につながる。 ・地域内の飲食店やお土産店を支援し、地域活性化につながる。 ・地域住民もふるさと座光寺の良さを再認識し、地域への愛着の心が醸成される。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・マップを活用しながら、観光誘客を目指していく。 ・元善光寺御開帳に訪れる参拝客を地域内へ循環させる仕組みを検討する。 ・当委員会の活動の活性化につながる取り組みとなる。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		375,100
うち助成金(見込み)		262,000
主な経費内訳 (上位3項目)	フラワープランター	165,000
	パンフレット印刷製本費	210,100

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	動画でりんごん
団体名	STEEZ Music Studio
代表者氏名	久保田愛
地区名	上郷

取組みの目的	コロナ過でも、市民の方達にりんごんという伝統的なお祭りを繋げていくため。き月に参加できるように、いろいろなジャンルでりんごんへの参加を促し、新しいりんごんを作っていく。
具体的内容	りんごんの曲を使い、お店のアピールや自己アピールの場として利用していく。また、コロナ過により運動不足解消や心のわくわく感を忘れないようにしていただくために、オンライン上でのつながりや、新しい事へのチャレンジの場所として宣伝をし、若い世代の方へもりんごんの曲や踊りにしたしんでもらう。



説明

動画撮影の様子



説明

依頼を受け撮影

写真

写真

説明

説明

取組の経過	たくさんのご応募をいただきました。参加団体さんも昨年とは違った方も多く、沢山の出会いをいただきましたが、コロナが拡大するタイミングで撮影がキャンセルになったり、市の施設を使っている団体さんは利用がなくなり、動画でりんごんの練習が不可能になってしまった団体さんもいました。なので、予定よりかなり時間がかかっています。
取組の効果	こまめに撮影した動画をSNSにアップしたところ、団体さんへの入会申し込みがあったり、イベントへの参加申し込み等があったと聞きました、いろんな団体さんがあることを知っていただけただけではないか。また、りんごんの曲もアレンジバージョンの人气が高く、こんな曲だったら素敵！と若い方たちからも評判が良かったです。また新たなりんごんの形が知れました。
今後の取組	現在業者さんが編集作業をすすめてくださっています。早めの完成を目指します。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	400,000
	うち助成金(見込み)	330,000
主な経費内訳 (上位3項目)	動画作成費	250,000
	撮影費	100,000
	場所代	15,000
	その他衛生費等	10,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	紙芝居DVDの教育・福祉施設等配布事業
団体名	飯田市赤十字奉仕団 紙芝居班
代表者氏名	班長 北原 成子
地区名	(上郷)

取組みの目的	<p>郷土の民話・伝承・偉人の話は、地元のことを知り愛する心を持つことにつながり、私たちの団体では紙芝居を作り上演活動を行っています。</p> <p>そのような中、新型コロナの拡大防止のためボランティアの受け入れが制限されており、施設利用者の楽しみが減り、運営者にとってはその対策に苦慮しています。</p> <p>そこで各施設の都合に合わせて鑑賞していただく方法として、DVDビデオを100枚作り配布し、皆様に鑑賞して頂くようにします。</p> <p>また市内小中学校・図書館にも寄贈します。</p> <p>贈呈数 福祉関係 52、小中学校 28、図書館等 5、他</p>
具体的内容	<p>今までに私たちが制作した紙芝居(20作品)の中から、3作品を選びビデオを作ります。</p> <p>業者にビデオ制作を依頼すると費用が掛かるため、自分たちでDVD盤とパッケージの編集まで行い、最後の製品化(ダビング防止措置済みのDVD盤製作)のみ外注します。</p> <p>市福祉担当者と打合せのうえ配布先を決めます。</p>



説明 ビデオ音声の収録作業(上郷公民館)



説明 第1回(10月28日)の贈呈趣旨説明



説明 第1回(10月28日)の贈呈品



説明 第2回(1月予定)の贈呈試作品

取組の経過	<p>7月 1日 業者へ見積書提出依頼 7月15日 製作者決定</p> <p>7月 第1回(2作品)収録に向け練習・・・1作品につき3～4日 ～ 収録、編集、製作発注 10月 納品 10月28日 第1回(2作品)贈呈</p> <p>11月 第2回(1作品)収録に向け練習 ～ 収録、編集、製作発注 1月 納品 1月 第2回(1作品)贈呈予定</p>
取組の効果	<p>施設運営者から喜んでいただき、礼状も10通ほど頂戴しております。(12月現在)</p> <p>外部に制作を依頼すると相当な経費がかかるが、編集作業を自分で行うことにより経費を抑えることができ、今後配布したり記録保存するにあたり選択肢が広がった。</p>
今後の取組	<p>コロナ収束の状況になく、作って配布したい作品もまだまだありますので、継続して行っていくことを考えています。</p> <p>作品を作るということは、他人の著作権を侵害する可能性を秘めており、何か勉強する機会があればありがたいと感じています。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		423,000(見込み)
うち助成金(見込み)		270,000(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	DVDビデオ製作費 130,000×3作品	390,000
	郵送代	30,000
	封筒ほか雑費	3,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

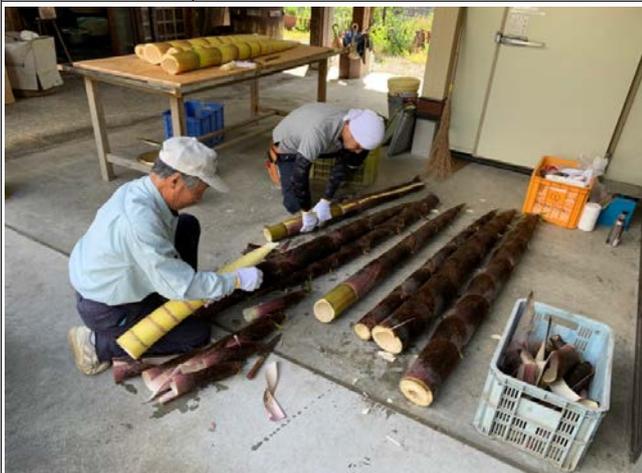
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	竹林活用プロジェクト
団体名	CHIKURIN
代表者氏名	宮内 雅
地区名	飯田市下久堅

取組みの目的	地元で、最近特に増加しつつある放置竹林を積極的に利活用することで、環境美化、景観の維持、通学路の交通障害防止等の向上を図り、竹を通じて人との繋がりを深め地域の活性化に取り組む。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○幼竹を使用しての竹メンマ作りを通じて食への拡大を図る。 ○竹を利用しての竹細工・竹遊具の作成 ○竹を利用しての竹食器・竹おちょこ等の作成 ○竹炭・竹パウダーを活用して農地の土壌改良・有機農法に活用する。 ○イベント開催により竹工作・竹切体験を行い地区民への関心を高め人との繋がり・交流を図る。



説明

幼竹の皮むき



説明

樽に塩漬け



説明

味付けメンマの完成



説明

伐採の竹林

取組の経過	<p>3月20日竹林伐採10名参加 4月 4日メンマづくり打ち合わせ 5月23日幼竹採取・茹で・漬け込みさ行 6月11日打ち合わせ 6月12日 県林務課主催ハチクメンマ講習会参加 6月13日 市教育委員会主催竹馬作り参加 6月20日 塩抜き後メンマ作り 8月21日打ち合わせ 9月26日 塩抜き後メンマ作り 9月29日メンマ試作品地区内関係者に配付 11月23日打ち合わせ 【以下実施予定】 令和4年 1月下旬竹林伐採 2月初旬今年度のまとめと次年度の計画立案</p>
取組の効果	<p>○主にメンマ作りを中心に活動を行い5種類の味付けメンマを作成して関係者に試食してもらった。味としてはまだ改良の余地があるので次年度への課題とする。 ○実際に竹林伐採を行ってみて景観がよくなることを実感する。改めて竹林伐採の必要性を認識することができた。 ○活動を行うことで竹林伐採について地元の方の関心、意識の変化が感じられる。地元でも重要課題であるので問題意識を共有しながら協力者を今後も積極的に増やして行きたい。</p>
今後の取組	<p>●コロナ禍のためイベント開催が実施できなかったため、当団体の取組が地区民に十分伝わらなかった。今後も引き続き宣伝、PRを行い周知に努める。 ●地区内関係団体と連携を図り竹を使った食器・遊具等の制作、活用を行うことで竹への関心を持ってもらうために積極的に取り組む。 ●会員に農業従事者が大勢いるので竹炭・竹パウダー等の活用について取組を図る。 ●伐採面積、伐採場所の増加を図る。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		160,000
うち助成金(見込み)		110,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品費	110,000
	材料費	30,000
	謝礼	10,000
	その他	10,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	県地区での有休農地の解消
団体名	県農地耕さくらぶ
代表者氏名	木下 周次
地区名	県地区

取組みの目的	農家の高齢化、就業者不足から飯田市並びに私たちの地区の県でも遊休農地が急増しています。遊休農地を減らすことは、地域の景観を守るだけでなく、農業の多面的な意義の地域の防災(水田をすることにより降雨災害などを防ぐ)にも役立ちます、地道な活動ではありますが、身近な環境を守りsDGS(持続可能な地域)への一助になると考えます。
--------	--

具体的内容	遊休農地にて、水田を作り遊休農地をなくしていきたい また、昨年まで作っていた水田を高齢化などの理由で作付けできなくなった場合のお手伝いをする。今期は水田57a、畑13a 作業賃を出席者には配分してモチベーションを上げ、継続可能な団体へと進化させる 販売先の確保を行う
-------	--



説明

粃播き&育苗



説明

代かき、田植え



説明

稲刈り



説明

県ふるさとふれあい文化祭での
お米サツマイモ販売

取組の経過	<p>4月10日 育苗ハウスづくり 4月15日 籾消毒 4月20日 籾まき 5月23, 24日 田起こし・代掻き 5月27, 28日 田植え、畦の草刈り（草刈りは1か月おきを目途に生え次第実施9月まで） 9月21, 23, 24日 稲刈り 9月22, 24, 25日 籾摺り脱穀 9月25日以降販売</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ●70aの遊休農地をお借りし、水田として57aお米(コシヒカリ)を栽培、13aを畑としてジャガイモ、サツマイモの栽培を実施し、遊休農地の削減に寄与できた。 ●遊休農地は水田の状況はいもち病にかかってしまい収穫量は30俵ほどでした。ジャガイモ、サツマイモも水はけが悪く収量につながりませんでした。 ●お米は太販売先は陽米穀をメイン販売し、組織の皆さんへの販売、鼎あかり保育園への販売をいたしました。 <p>・・・今期は収量が上がりずかなり厳しい組織の経営となってしまいました。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地を引き続き行うことで遊休農地を増やさないようにします。 ●水田の補修並びに病気への対応で収益性のある水田へとします。 ●収益性を高め十分なクラブ員への作業費の配当をする。 ●作業効率を高め、担う遊休農地を増やしていきたい。 <p>。。。今期は大幅な赤字が予想されます。農業は天候環境との戦いでもあります。その中で毎年安定した経営にするのは難しいですが、この事業継続のためにも、自然環境と共存して、持続可能な事業への成長させていきます。またリスクを回避するように、畑での作付を安定させ、売り先を事前に決めて安定感のある事業へとゆきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,200,000
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	種子、農薬、肥料、畦波、機械リース代	900,000
	日当	300,000
	※収入おコメ販売	500,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	大宮通り桜並木イルミネーションライトアップ事業		
団体名	大宮通り桜保存会		
代表者氏名	井上 基		
地区名	東野		
取組みの目的	<p>・東野地区基本構想・第2部会の『伝統文化を継承するまち』・『子供たちにずっとつなげる東野地区の伝統文化「文化育」の展開』をテーマとしています。</p> <p>・訪れた人がまた来たいと感じて頂ける地域づくりを目指し、イルミネーションを東野地区のシンボルとして、仏閣6社と大宮神社の景観に合った明るいイルミネーションで並木通りを安心して、冬の寒い期間でも楽しく歩くことができるよう取り組んでいます。</p>		
具体的内容	<p>・桜並木(約700メートル)から神社(100メートル)、公園(ポケットパーク2か所)に2年計画で電飾します。</p> <p>・区間が長い(総延長1500メートル)、中・高校、各団体に飾りつけボランティア参加を呼びかけます。</p> <p>・現在は9ヶ町内の保存会の活動ですが、東野地区全体の取組として、全20ヶ町の参加を呼びかけていきます。</p> <p>・イルミネーションフェスタを開催している橋北まちづくり委員会(面白倶楽部)に、デザイン、装飾方法等ご指導いただき、魅力的な飾り付けを行います。</p>		
			
			
説明	上段:大宮神社イルミネーション	説明	下段:桜並木イルミネーション

取組の経過	<p>7月 2日(金)桜保存会通常総会。イルミネーション新規事業承認。 7月 6日(火)飯田東中学校・地域総合的学習にて桜並木の歴史・観光・並木の保存活動等について説明及び活動・イベントへの参加呼びかけ。 7月22日(木)イルミネーション発注。 10月30日(土)東中学校地域貢献桜並木落ち葉掃除生徒190人、保存会100人 10月30日(土)保存会イルミネーションライトアップ会議。 11月 8日(月)東中学校訪問、教頭に点灯式の販売と飾付要請。 11月12日(金)東野地区イルミネーション開催チラシの回覧及びボランティア募集開始。 11月15日(月)各種団体にボランティア参加要請。 (東野連合青壮年会、勤労協東野支部、東野公民館、東野まちづくり会議、社会福祉協議会等) 11月27日(土)イルミネーション飾り付け。桜保存会19名、ボランティア参加14名。 12月11日(土)15:30～点灯式前イベント。飯田東中学校生徒によるりんごジュース・ジャムの販売、地元農家の野菜販売。 ボランティアによるサンタクロース(地元有志及び人形劇あかね)のイベント参加及び子どもへおもちゃ配布。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・12月11日(土)から1月28日(金)までのライトアップとする。⇒冬の寒い期間でも、訪れる方に楽しんで頂けるような並木通りとする。 ・12/31は、年越しオールナイト点灯とし、2年参りの方々に楽しんで頂く。⇒正月行事として神社の常夜灯としてライトアップで集客につなげていく。 ・学生ボランティアにイルミネーション飾付、りんごの加工品販売を依頼し、一緒にイベントを盛り上げる。⇒地域の方との交流が学生時代の思い出となるように。大宮通り桜並木が『ふるさと』となるような活動をおこない、若者との地域交流で『ふるさと』を活性化する。 ・今後もイルミネーションによるイベントで、地域の活性化を継続していくことで、田園回帰の場所となるようにする。 ・学生をはじめとした、地域の方々のボランティア参加が活発となるような活動にしていきたい。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はラウンドアバウト交差点の改修工事期間という事で、ラウンドアバウトから吾妻町及びポケットパークの装飾は中止としました。 ・今後はこの部分にもイルミネーションを装飾し、明るく輝く桜並木として冬の東野地区の魅力を配信するスポットになるように、地域全体のイベントとして、盛り上げていきたい。 ・改修工事後の新たなラウンドアバウト、ポケットパークにシンボルとなるような飾付を、橋北まちづくり会議、(面白倶楽部)に依頼し、助言を頂きながら、大宮通り桜並木全体に効果的なイルミネーションとなるよう、取り組みを行っていきたくと考えています。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		479,441
うち助成金		350,000
主な経費内訳 (上位3項目)	イルミネーション機材購入費	429,440
	コロナ対策費	50,001
	回覧板チラシ印刷費	
	飾付資材、点灯式備品購入費	

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	代田地区寺子屋
団体名	代田地区寺子屋運営委員会
代表者氏名	松澤 秀明
地区名	飯田市松尾代田

取組みの目的
 明治6年に学校制度ができるまでは、地域の子どもは地域に開設された寺子屋で、読み書き算盤を習っていた。学校制度ができた後は、そのほとんどを学校に任せてしまい「地域の子どもは地域で育てる」との思いを忘れてしまっている。上久堅地区では、夏休みに地域の大人が子どもの面倒を見る「寺子屋」を30年前から行っている。この活動を知ってから、何時かは自分の地域でも行いたいとの思いがあった。この考えを同級生や区長さんに相談したところ、「いいことだからやってみようではないか」となり、地区の大人6人が平成24年から始めて10年目になった。コロナ禍ではあるが、保護者や子どもさん方から「是非開設してほしい」「行きたい」という声をいただき、感染予防策をできる限る講じて開催することにした。

具体的内容
 ○「夏休み寺子屋」は、夏休みの初日からお盆までの期間、毎日朝6時40分にラジオ体操が終わった後、公民館へ入って夏休みの宿題帳を7時30分まで行っている。また、毎日「師匠の話」として地域の大人が子ども(寺子)に話す時間もある。こうした「朝学」の他に、「工作教室」や「星見の会」を行っている。さらに、自分でおにぎりを作って食べる「朝食会」も計画していたが、この会は中止とした。
 ○冬休みは「書初め教室」として、学校から出される書初めの課題を1月4日の午前中、地域の大人が師匠となって書いている。その中で干支の大文字を幅90cmのロール状の障子紙書くことも行っている。書き終えた後の「お茶会」も計画していたが中止とした。でき上がった作品の一番いいものは学校へ持って行き、二番目にいい作品は2月の代田地区文化祭に出品して見ていただく予定である。



説明

入山式



説明

朝学をする寺子を支援する師匠



説明

下山式(6年間通いました)



説明

師匠のお手本を基に書初めをする

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・6月26日 代田地区組長会で「寺子屋」について説明し、募集案内の組合回覧を依頼 ・7月 7日 代田地区小学校地区懇談会で「寺子屋」について説明を行う ・7月22日 師匠連絡会。参加児童保護者説明会 ボランティア・ボランティア行事保険加入 ・7月26日 寺子屋入山式(開講)(朝6時45分～7時30分まで) 以後8月11日まで開講 ・8月 2日～6日まで、PTA主催ラジオ体操への参加を代田区と連携して呼び掛けて実施 ・8月 2日 工作教室開講 7日星見会は天候不良のため中止 ・8月11日 下山式(終了式)・がんばったで賞を授与(今年の参加者寺子21名、師匠7名) ・8月26日 代田地区組長会で活動報告をし、活動報告の組合回覧を依頼 ・10月 8日 師匠反省会開催 ・11月26日 代田地区組長会で「書初め教室」を説明し、募集案内の組長回覧を依頼 ・12月16日 参加者集約。寺子19名、師匠8名 ・12月18日 師匠連絡会(お手本を書いて練習する) ボランティア行事保険加入 ・1月 4日 書初め教室開催(9時～12時) ・1月26日 代田区組長会で活動報告をし、活動報告の組内回覧を依頼 ・2月13日 代田地区文化祭で書初め作品を展示発表 ・今後、10年のあゆみの冊子づくりを行う予定。
取組の効果	<p>(寺子の感想)・わからないかんじをししようがおしえてくれてうれしかった。(2年生)いつも朝はだらだらしているけれども、寺子屋に来たら宿題がはやく終わってよかったです。(5年生)師匠のおかげで宿題がはやく終わりました。また過去にあった事やおもしろかったことなどのお話のためにすることがあってよかったです。(6年生)</p> <p>(保護者の感想)・他地区にはない代田区ならではの寺子屋本当に助かります。何より子どもが楽しそうに自分から進んで参加している姿に親として大変うれしく思います。・2人とも1年生から毎年通わせていただいています。本当に有難うございます。・家で「宿題をやった?」というような言葉を言わなくなったので、お互いに嫌な思いをしなくてなによりです。</p> <p>(師匠の感想)・早く来て、進んで机を出したり、掃除をしてくれた子どもが何人もいて素晴らしいと思いました。・始めてみると、子ども達から元気をもらえ、私でも役立つことがあることが嬉しくなりました。素晴らしい活動だと思います。「書初め」の支援も楽しく充実しています。</p>
今後の取組	<p>○コロナ禍であるが、来年も開講していきたいと計画している。この活動は開講時間もラジオ体操が終わった6時45分から7時30分までと実質45分間であり、終わった後から師匠も仕事に行くことができる。また、子どもに教えるのではなく、子どもの学習を見守る活動であることから、特別教職の経験は必要としないことから、代田地区以外でも、師匠となれる人や場所はあるので開講できると考える。他地区へ啓蒙していく計画はあったが、コロナ禍でできなかった。来年度は他地区区でも開講できるように広めていく活動を行ってきたい。</p> <p>○今年新たに、PTA主催のラジオ体操へ代田区とも連携して地区の方々に参加を呼び掛けた。約50人の皆さんが参加してくれ最終日には、ささやかなご褒美をお渡しする事もできた。来年度は更に広げていきたい。</p> <p>○運営に関わる費用を今までは、「松尾まちづくり委員会のやらまいか松尾」、「ムトス飯田助成事業」「退職公務員蓮玲下伊那支部松尾」等から支援をいただいて運営することができてきた。しかし、ムトス助成も今年度で終わりとなる。次年度からの財政をどのようにしていくか大きな課題である。</p> <p>○寺子と師匠となってくださる方をさらに増やしていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		183,500円
うち助成金(見込み)		121,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(ボランティア・ボランティア行事保険)、奨励賞	43,500円
	10周年記念誌(印刷製本代)	50,000円
	材料費(生け花教室、書初め用紙、ひらがな練習帳)	35,000円
	その他(講師謝礼、プリンターインク代、用紙代)	55,000円

取組名称	小学生のための「笛」の吹き方教室
団体名	代田獅子囃子保存会
代表者氏名	松澤 秀明(申請時の保存会長)
地区名	飯田市松尾代田

取組みの目的	<p>明治初期に伝授されて以来150年にわたって「代田獅子囃子」は、代田区民の有志によって構成される「代田獅子囃子保存会」が伝承している。2年に一度、代田区の鎮守「下の宮諏訪神社」の祭典に合わせて地区内を巡行している。獅子の前で稚児(小学3、4年生女兒)が舞う可憐さに特徴がある。一方男児の参加する場面がない。そこで、男児女児に関わらず子ども達に新たに加わっていただいて、地区全体で継承していきたいと願っている。3年前から小学生への参加について活動を展開し、現在17名の子どもが参加している。今年度の春季例大祭では、長年の願いであった。子どもが衣装を身に着け笛を吹く姿を。多くの地域の方々に見ていただくことができた。地域の方々から子ども達の活動が素晴らしいとお言葉をいただいた。</p>
具体的内容	<p>平成30から小学生への参加についてより具体的な活動を行ってきた。①小学校地区PTAで説明会の開催 ②子ども達の集まる行事である「天神様」で獅子舞の披露 ③地区回覧による募集案内 ④保存会役員による個別訪問による依頼 等々を繰り返し実施してきた。その結果平成31年12月には、10名の小学生が参加をしてくれる事になった。平成31年1月から笛の吹き方教室を開講して、長期休みを中心にこれまで25回行ってきた。この練習には笛の師匠となる大人が毎回6～7人参加して支援している。また子どもに分かりやすく伝えるために、楽譜を作成し、指使いについては、絵や映像化してそれをファイル化したり、DVDにする等の工夫を行っている。こうした努力もあり子ども達の上達は目を見張るものがあった。衣装も整い今まで敬老会で披露することはあったが、お祭りが延期になり披露することができないでいたが、今春初めて地域の方々に披露することができた。</p>



説明 延期されていた代田獅子囃子の演舞



説明 初めて笛を吹く姿を披露



説明 綺麗な笛の音色を披露



説明 冬休みの練習

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・2月末 新調した、股引、腹掛け、ジャンバーを一人用ケースに入れ、通し番号を付け、大きさを書き入れて、保管箱3つに入れた。 ・3月4日 新調した股引、腹掛け、ジャンバーを子どもの身長に見合う大きさのものを一人一人に届けた。貸し出し簿を用意して、貸し出した児童名、衣装の大きさを記載した。 ・3月17日 春季例大祭を実施を決定。但し、従来の地域内を巡行型から、披露場所を4か所に限定して行う形に変更する事になった。 ・3月22日 保護者会を開催して、感染予防策や、保護者も一緒に参加していただくことを了解していただくことで参加を決定。 ・3月25日・29日・4月3日 3日間練習を実施。 ・4月6・7日 総練習(獅子舞、お囃子、稚児舞等全員参加)に参加。 ・4月10日 当日 午後4会場で披露(12名参加)・慰労会等は実施せず。 ・8月2日～7日 代田地区寺子屋が終了後、笛の希望者8名に30分間音出し練習を実施 ・7月28日・8月5日 夏休みの練習。今回は童謡唱歌を吹こうという趣旨で開催(7名参加) ・12月26日・1月5日 冬休みの練習を実施。(中学1年女生徒3名退会・新たに9名参加) ・12月末 衣装の大きさ希望調査実施 ・1月上旬 新たに新調する、大きさと注文数を決めて発注。
取組みの効果	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナのため、昨年1月に練習をして以来夏休みに2回、冬休みの2回の練習を行っただけであるが、子ども達は、しっかりと覚えていて2曲が吹けるようになった。今春式年例大祭が実施されても、十分に笛を吹いて披露できるまでになっている。 ○昨春の下宮諏訪大社春季例大祭で、衣装も整えられた子どもの笛が加わる事が出来た。準備はできているので、今春は是非お祭りを実施してもらい、子ども達の活動をもっと多くの方々に知ってもらいたい。 ○当初はこんなに早く吹けるようになると思っていなかった。子どもの支援策として、笛を手作りしたり、楽譜を作ったり、指使いについては図化して映像化してDVDにしたりするなど、今まで取り組んできた練習方法や教授の仕方に自信が持てるようになった。 ○こうした活動を通して、小学生の会員を増やすことへの自信が持てるようになった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○昨春の式年祭で地域デビューを果たすことができ、地域の方々に子どもの活動を知っていただくことができました。引き続き活動を継続していきたい。 ○令和4年3月には、「飯田お練りまつり」に出演する予定。4月には下の宮式年例大祭で地区内を巡行する予定である。多くの方々に知っていただく良い機会であるので、積極的に参加していきたい。 ○新たに活動を始めてくれる子どもを勧誘し、会員を増やしていきたい。 ○昨春の式年祭では、笛を吹く子どもの保護者にも警護役として参加してもらいみんなで楽しめた。その発展として保護者の方々にも保存会への入会を勧めたい。 ○子どもの笛のお囃子を披露する機会があれば積極的に披露して知ってもらうようにする。 ○今春の式年例大祭後は、笛を吹けるようになった子どもは、自分で取り組んでみたい、獅子舞やお囃子の他の楽器に、組み替えて取り組んで行けるように支援したい。 ○将来的には、子ども用の獅子頭を作って、子どもの獅子舞ができるまでにしたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		195,650円
うち助成金(見込み)		137,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(腹掛け、股引、ジャンバー)	114,400円
	備品費(笛)	32,500円
	事務費(プリンターインク、名札、ファイル等)	30,500円
	その他(9)	18,250円

取組名称	エシカルマルシェ
団体名	一般社団法人 South-Heart
代表者氏名	森本 ひとみ
地区名	飯田市全域

取組みの目的	<p>「買い物はしあわせな未来への選択！」をコンセプトにしあわせな未来への選択をはじめた売り手と買い手が出逢う場所。 人にも地球にもそして環境にもやさしい「いいもの」が買える場所。 その場所としてエシカルマルシェを開催。</p>
--------	--

具体的内容	<p>コロナ禍の状況をふまえて9月の1週間をエシカル週間とし、エシカルマルシェ参加店へ足を運んで頂けるように企画し、9月25日(土)の一日のみかざこし子どもの森公園にてマルシェを開催予定でしたが警戒レベルが高いこともありかざこし子どもの森公園は中止致しました。</p> <p>エシカルマルシェの具体的な出店内容としては、農薬や肥料を使用しないで栽培したオーガニックな農産物の販売、フェアトレード商品の販売、自然素材を使った寝具や洋服の販売、植物性オイルの販売、地元のシードルや農産物の販売及びその農産物を使ったお料理の提供等。</p> <p>この出店にあたりSDGsの17の目標のうち各出店者が目指しているまたは実際に実践している17の目標をチラシ及びイベント会場で掲載することにより来場者への周知。 「エシカル」を周知し身近に感じてもらうためにバナナペーパーを使用した葉をイベント期間中に配布。</p>
-------	---



説明 エシカルマルシェ チラシ



説明 バナナペーパー製のしおり



説明 参加店:いなほ



説明 参加店:ボンシヤンス

取組の経過	<p>7月12日 エシカルマルシェ実行委員会オンライン会議 7月20日 エシカルマルシェ参加店 チラシ原稿メ切 8月7日 エシカルマルシェ参加店 動画原稿メ切 9月1日 飯田市内全戸組合回覧へチラシ配布 9月19日-26日 エシカルマルシェ参加店にて開催</p>
取組の効果	<p>エシカルへの関心や理解がない方でもエシカルマルシェに気楽にお客様として参加することにより、体験や人とのつながりを通して「エシカルとは？」と自分へ問いかけをすることで現在の環境や社会の状況に関心を持ち、さらには何気なくしていたことがエシカルであると気づくことで、エシカルとは難しいことではなく、生活に根差した考え方であることをエシカルの参加店舗を通して理解して頂ける活動となっております。</p>
今後の取組	<p>2018年～長野県が「エシカル消費の認知度100%」を目指すことを目標に掲げていることから長野県との協働のみならず、飯田市男女共同参画課が主体となりエシカル消費の推進を行うことを2019年度から目標に掲げている背景もあり、男女共同参画課その他関係部署と協働することにより環境文化都市としての飯田市の発展につなげていけたらと考えています。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額	379,250
	うち助成金	280,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チラシ作成費用	269,850
	動画作成費用	50,000
	配布用消毒液	49,400
	FB広告	10,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	北方壮年団創立40周年記念事業 信濃路自然歩道補修整備
団体名	北方壮年団
代表者氏名	近藤和孝
地区名	北方

取組みの目的	信濃路自然歩道整備を10年前に実施しましたが、丸太橋・階段等老朽化が進み、危険な箇所があるため改修工事を実施し、遊歩道を広く知ってもらうことと活用してもらうためのPR活動を行う。
具体的内容	丸太橋・枕木階段箇所に使用している木材が腐食しているため、北方生産森林組合から木材を調達し、付け替え工事を実施する。一部丸太橋へ手すりの設置・水が湧き出ている箇所へ砕石を搬入し、水の流れを良くする。初めて利用する方にもわかるよう遊歩道の地図作成と案内標識を設置する。



説明

湧き水回収箇所



説明

階段回収箇所



説明

丸太橋・手すり設置箇所



説明

階段回収箇所

取組の経過	令和2年6月14日 役員会にて遊歩道整備事業計画策定開始 以後 役員会にて随時計画案の作成 令和2年 6月28日 整備箇所下見 令和2年 8月 9日 整備箇所決定 令和3年 1月24日 臨時総会にて遊歩道整備事業の承認 令和3年 8月22日 遊歩道整備事業実行委員会開催 令和3年 9月 4日 北方生産森林組合と現地にて木材の伐採 令和3年 9月19日 整備開始 令和3年10月31日 整備終了 令和3年11月23日 案内看板設置 令和3年11月28日 団員約40名参加し、遊歩道散策 以下実施予定 遊歩道地図作成
取組の効果	現状効果はありませんが、南信州新聞にて整備事業の記事を掲載したため、1件問い合わせがあり是非歩いてみたいとのことで電話にて案内をしました。
今後の取組	遊歩道地図の伊賀良地区への配布ほか、PR活動 やまびこマーチの信濃路自然歩道使用への誘致活動

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	505,836
	うち助成金(見込み)	320,000
主な経費内訳 (上位3項目)	案内標識	150,150
	丸太橋手すり設置	88,858
	遊歩道マップ政策	76,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	おとめウェーブ活動
団体名	おとめWAVE
代表者氏名	北村裕美
地区名	飯田下伊那郡中心

取組みの目的	日頃、妻として親として女性として様々な立場で家庭や社会を支えている女性たちに、より楽しく輝き、笑顔になってもらいたいと思っています。飯田下伊那郡を中心とした地域の方々「自分らしく楽しく輝く」を軸に、共に学び、刺激し合い、支え合える仲間作りと憩いの場を作っていきたいと思っています。そして、自分自身に目を向けて、目標や夢を持ち、自分を生かして輝くための最初の一步を踏みだすきっかけと応援となるようなイベントを開催いたします。
具体的内容	毎月1回の例会を行い、皆が興味があることや一緒に学びたい事を毎回テーマを掲げて、専門家や講師から学びます。また、お料理教室やアウトドアの楽しみ方などの子供や家族も一緒に楽しく体験できる内容も計画にいて、知識や技術を多くの方が学べる例会を開催します。また、10代から80代までの女性達が自分自身の「夢」や「目標」を持ち、仲間とともに目標達成のために頑張り、成長し支え合い、励まし合う時間を共有し、「ランウェイショー」という形での発表会のイベントを開催します。自分自身にスポットライトを当て、人前で歩くことや発表することで自信をつけて輝いた姿を家族や友人に見て頂けるイベントを開催いたします。



説明	当日は地域ボランティアの方々や一昨年出場されたOGの方々もご協力を頂きまして盛大にランウェイショーを開催することができました。
----	---

説明	小学生・高校生による初めての挑戦で、太鼓と書道のコラボパフォーマンスを発表してくださいました。
----	---



説明	思いの詰まった衣装を着て最高の笑顔とともに勇気ある力強い発表を行いました。
----	---------------------------------------

説明	皆で学び、成長できる場を毎月開催することができました。
----	-----------------------------

取組の経過	9月の「ランウェイショー」に向けて、4月より計画し、目標設定や自分達が学びたい事や興味がある事をみんなで意見を出し合い、一緒に学びました。猫背矯正、姿勢のレッスン例会、魅せ方・表現の仕方例会、話し方・発声レッスン、整理収納アドバイザーによる断捨離教室、ミセスジャパン出場者による心の在り方講話を行い、様々なことを学び、体験出来ました。家族や友人、子ども達も参加し、お母さんや友人が頑張ってる姿を応援できるように共有し一緒に時間を過ごしました。コロナの感染拡大により、9月に予定していた「ランウェイショー」は12月に延期となりましたが、参加者は延期によって「時間が出来た」と、ウォーキングレッスンや衣装選びにかける時間を有効に使いモチベーションを保ちながらより一層磨きをかけてイベント当日に向かうことが出来ました。当日は子供たちの太鼓と書道によるパフォーマンスやダンスやカホンによる楽器演奏も含め、ランウェイショーを行うことが出来ました。観覧者も100名近い方々が来てくださり、盛大に開催することが出来ました。また、今後はランウェイショーの振り返りとともに、日常の変化や気持ちの変化などを話し合う機会も計画しています。
取組の効果	今まで知らなかった事や体験したことがなかった事をみんなで一緒に学ぶことで自分の知識や見識を広げることが出来ました。より多くの知識と世界を知る母親や大人が一人でも増え、家庭内や地域の子供たちに楽しさや喜びなどを伝えて交流を図ってもらえたらと思っています。「ランウェイショー」というイベントを子ども達のパフォーマンスから大人の自分磨きの発表で幅広い年齢と分野が一緒にイベントに参加出来た事が本当に素晴らしい機会となり、子供たちからも「大人がみんな楽しそうだった」「子供たちの頑張りに力を貰った」との声も頂きました。また、出場された方々からは「家族からの接し方が変わり、会話が増えて色々話せるようになった」「子供からお母さんかっこ良かった」「友人が来年は私が出たい」との声があると話してくださいました。新たな最初の一步を踏み出した方々の本人たちの前向きな姿勢や行動により多くの周りの方に影響や刺激を与え、多くの方を笑顔にできたと思っています。
今後の取組	一人でも多くの方がやりたい事を形に出来たり、一步を踏みだせる応援が出来るようにコロナ禍でも模索しながら継続的な活動を行っていきたくと思います。活動を周知して頂くために広報活動や声かけなども行い、「なにか楽しいことやってる」「一緒に何かやりたいな」と思ってもらえるように私たち自分も磨きをかけ、楽しく活動していきたくと思っています。今後は自分のスキルを人に教えたりできるようなワークショップのようなプチ講座が開けるイベントや挑戦できる機会を作り、コミュニティの場を広げていきたくと思います。お互いの知識と価値を活かしながら、共に輝いた女性を増やして元気で笑顔あふれる街にしていけたらと願っています。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		505,000
うち助成金(見込み)		350,000
主な経費内訳 (上位3項目)	イベント演出用費用	150,000
	チラシ作成・修正・印刷代	67,000
	イベント記録用撮影代 動画・カメラ等	60,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	2021 第2回ネクストステージ交流大会
団体名	プロ野球選手を招く会
代表者氏名	池田 大介
地区名	飯田市

取組みの目的	子供たちに次へのステップとし中学で野球を続けていってもらいたい思いから企画しました。違う環境での野球、楽しさを伝えればと思います。
具体的内容	子供たちが中学で野球を続けて行ってもらうために、6年生を対象とした進学中学単位での交流戦を行いました。計6中学。 飯田市で活動している少年野球チーム11チームがそれぞれの進学中学6校に分かれ交流戦を行う。閉会式にはすべての子供たちへ記念メダルを各チーム指導者より授与した。 審判では、日ごろ保護者が審判やボールボーイをしています、今回も中学硬式野球クラブチームの飯田ボーイズさんの子供たちに協力していただき、保護者にはゆっくり試合を見ていただく環境としました。



取組の経過	2019.2.10プロ野球選手を招く会発足、2019.12.14野球教室開催。 2020プロ野球選手を招き野球教室をしてあげる予定でしたが、県外からこの時期に講師を呼ぶことへの理解を得ることは難しいと考え、協力団体とも協議を積み重ね、何かしてあげようと12月13日にネクストステージ開催を決めました。コロナウイルス感染拡大に伴い学校も休校、野球ができる状況がなくなりました。感染防止対策をし、我慢を1番してきた子供たちの中でも、最上級生6年生に対して行うこととしました。 2021.9コロナ状況が過去最多ととても県外から講師を呼ぶ状況になく予算集めや講師へのオファーも含め今判断しないと行えない為に厳しいと判断し野球教室を断念。2021.12.12第二回飯田市ネクストステージ大会を開催。
取組の効果	参加された子供、保護者、指導者の笑顔がいっぱいになったことや、大人からは涙が出た、ワクワクした、楽しかった、また来年もやってくれるようなら協力したいなどのお声も頂きました。子供たちは日ごろ敵チームとして戦ってきた仲間と一緒に野球ができる楽しさや、緊張感もありましたが、メダル授与では、嬉しそうにメダルを掛け記念撮影をチーム同士や親御さんと嬉しそうに撮る姿をみて、大成功だったと思います。
今後の取組	コロナウイルス感染の状況を見て、大人が感染防止対策をしながら、何かしてあげられる事はないかと常に考え、実行していきたい。コロナウイルス感染が収束の時には、野球教室もやっていこうと思います。日々変わる状況の中、何もしない選択はしないよう、今の青春を今しかない青春の思い出を創って行ってあげたいと思います。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		166,462
うち助成金(見込み)		166,462
主な経費内訳 (上位3項目)	記念品メダル	130,200
	備品購入	21,062
	会場費	15,200

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	児童用読本「自由画教育と木下紫水」の制作とその活用
団体名	竜丘公民館 竜丘小学校
代表者氏名	竜丘公民館 館長 田添 荘文
地区名	竜丘地区

取組みの目的	<p>竜丘小学校では、大正期から昭和初期にかけて子どもの個性を尊重し感性を伸ばす「自由教育」が進められた。その中でも特に木下紫水が取り組んだ「自由画教育」は先駆的な取り組みとして全国的にも高い評価を得ている。そして、その自由教育の精神は、現在でも竜丘小学校の教育活動において、また竜丘地区の地域づくりにおいても生かされている。</p> <p>今回の取り組みは、木下紫水が取り組んだ自由画教育について、そして、木下紫水の生き方等について読本を作り、小学校の子どもたちに伝えていこうとするものである。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○自由画教育や木下紫水に関する資料の収集 ○「木下紫水物語」の全体構成の検討 ○物語文の作成 ○さし絵の場面の検討及び画家への依頼 ○小学校6年生への配布と「木下紫水物語」の説明会 ○読本「木下紫水物語」の授業での活用 ○小学校の自由画考古室の整理 ○小学校の玄関前の自由画展示ケースの絵の入替



説明

作成中の物語の表紙等



説明

物語の本文



説明

竜丘小学校自由画考古室整備



説明

自由画展示ケースの絵の入替

取組の経過	<p>○5月25日 第1回自由画保存顕彰委員会{公民館、学校、美術博物館からの委員で構成) 物語の内容、推進日程、制作費等について検討</p> <p>○6月16日 第2回自由画保存顕彰委員会 物語の具体的な内容について検討</p> <p>○7月6日 第3回自由画保存顕彰委員会 物語の具体的な内容(試作1)について検討</p> <p>○10月6日 第4回自由画保存顕彰委員会 物語の具体的な内容(試作2)について検討</p> <p>○10月28日 第1回 小委員会(委員会の中に小委員会を設置する)、 物語の具体的な内容(試作3)について検討</p> <p>○11月25日 第5回自由画保存顕彰委員会 物語の具体的な内容(試作4)について検討</p> <p>○12月20日 第2回 小委員会 物語の具体的な内容(最終案)について検討</p>
取組の効果	<p>○まだ、読本「木下紫水物語」は完成していないが、作成していく中で、自由画教育や木下紫水の業績に関する理解が、委員それぞれにおいて深まってきている。</p>
今後の取組	<p>○読本は、2月中旬に完成する予定。その後に、小学校6年生への贈呈式を予定している。また、贈呈式の後、6年生に本の内容を委員が説明する。</p> <p>○6年生に配布した後に、読本の感想を書いてもらう。</p> <p>○児童の感想をもとに、授業での活用方法を考える。</p> <p>○地区の住民に対しては、読本を使つての「自由画教育について」の学習会を開きたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		480,000
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	読本印刷費	425,000
	挿し絵画家への謝礼	25,000
	消耗品費	30,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

(ふりがな)	かざこしやまをあいするかい		
団体名称	風越山を愛する会		
(ふりがな)	やました もりひろ		
代表者氏名	山下 守弘		
設立年月日	昭和61年5月14日		
ホームページ	www.mis.janis.or.jp/~hilasawa/		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>10月6日 浜井場小風越山学習会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>7月18日 本高森山登山</p> </div> </div> <p>登山道および案内板の整備を通じた環境保護。イラストマップの販売や会員通信「風のたより」発行・ホームページを通じての風越山のPR活動。地元まちづくり委員会を含めた各種団体、小学校と連携した風越山学習会、登山への参画、登山マラソン・白山社開山祭への協力、観月の夕べの実施、風越山の自然・歴史、文化ガイド、学習会を通じての歴史・文化の保護。笠松山、吉田山、摺木山などへの近隣登山、加賀の白山遠征登山など、風越山の魅力や登山の楽しさを感じていただけるような活動をしています。</p>		
PRしたいこと	<p>風越山は飯田市のシンボルとして親しまれています。歴史をひもとくと、古くは霊山としての信仰の拠り所となってきた山であり、今もその凜々しさを感じることができます。また、四季折々の表情の変化によって私たちを楽しませてくれる、懐の深い山でもあります。私たちは、会員だけでなく、多くの方々にこの風越山の魅力に触れていただくために、楽しく和気あいあいとした雰囲気をもっとに活動しています。皆さんとの出会いが、風越山を通して広がっていく事を楽しみにしています。</p>		 <p>7月11日 風越山「石仏」学習会</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>私たちは、いつも飯田市の暮らしに寄り添ってきた風越山を守り、その魅力を感じていただくための活動をしています。そのためには、自然環境や歴史、文化を守り、語り伝えていく必要があります。そのため、まちづくり委員会をはじめ、幅広い団体と連携し様々な活動していくことができると考えています。風越山に少しでも興味のある方、団体は、是非お声かけください。</p>		
困っていること	<p>風越山が誇る独自の自然形態や、守り伝えられてきた歴史・文化を次世代に残していくために、是非とも幅広い年齢層の方に活動に参加していただきたいと思っています。特に若い世代のエネルギーやアイデアを「風越山を愛する会」に加えていただくことができたら幸いです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>私たちは、たくさんの方々に風越山の魅力を感じていただくために活動しています。老若男女問わず、幅広い方々に参加していただきたいと思っています。少しでも興味のある方は是非ご入会ください。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>風越山の登山道の整備や、自然・歴史のガイドのお手伝いなどをお願いしたいと思います。是非お声かけください。</p>

(ふりがな)	かみいいだゆういち		
団体名称	上飯田夕市グループ		
(ふりがな)			
代表者氏名	松下みな子		
設立年月日	2年 4月 10日		
ホームページ			
活動内容	<p>R3. 2/10 丸山保育園へ会員手作りのマスク寄付(男児7名、女児10名、先生方11名分) 2/15 本年度の計画案作成同日、丸山保育園の先生と相談、さつまいも作りとする。 8名全員出席 5/11 丸山小にて先生方と相談。子ども達の作りたいものを聞きさつまいも・大豆・すいかとなる。 同日、丸山保育園の先生と相談、さつまいも作りとする。 5/29 整地してさつまいもの畝作りをする。 6/3 さつまいも植え 丸山小2年生 畝2通り80本 スイカ9本 6/3 さつまいも植え 丸山保育園 1畝40本 7/13 大豆は子ども自身がポットへまき、会員が整地した畝に定植し鳥よけの糸を張る。 8/8 スイカの収穫 夏休みの為、会員収穫してコンテナ5個で13~15玉有り、Aコープの保冷庫へお願いする。 9/9 スイカ試食会 丸山小プレイルームにて会員が切り分け、子供たちは試食。コロナ禍の為 黙食。 10/20 さつまいも掘り 丸山保育園児20名 大きな芋を掘り、スーパーの袋で持ち帰る。 10/27 さつまいも掘り 丸山小2年生 上出来で段ボール4箱いっぱい、一輪車にて学校へ。 11/13 丸山保育園 地産地消ということで、会員の手作り野菜を給食用に提出。(大根、人参、長ネギ、ごぼう、ほうれん草、白菜、りんご) 11/19 丸山保育園へ会員が招待される。歌・寸劇をしてきて、さつまいもの味ご飯をパック詰めで頂く。</p>		
	丸山小学校 大豆まき		丸山保育園 さつまいも植え
	 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	畑の整地、草取りは男性の応援(会員の夫)もありますが、年毎に大変になっています。多勢いた会員も脱会と高齢で少なくなりましたが、子ども達との交流で元気とパワーをもらっています。丸山小は毎年2年生との交流です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

団体名称	ろうどくほうしのかい こえのわ 朗読奉仕の会「声の輪」		
認証年月日	昭和57年 4月		
(ふりがな)	たまおき すみこ		
代表者氏名	玉置 すみ子		
主な事務所の所在地	飯田市立中央図書館		
ホームページ			
主な活動分野	録音図書製作		
活動内容	<p>1. 会員個人が、日常的に自宅にて録音図書の製作にあたる。昨年度1年間に出来上がった録音図書は、文学、郷土資料など82冊。他に新聞や郷土雑誌「伊那」などを毎号音訳。2. 利用者の方々に向けて、毎月完成本の紹介などを収録した「声の輪だより」を製作して発送。3. 会員の技術向上を目指し、毎月例会を開き研修を重ねる。(写真:左側・例会のグループ学習、右側・「声の輪だより」ダビング作業)</p>  		
PRしたいこと	<p>デジタル化が進み、お聴きになりたい本は全国から選べますし、「声の輪」製作の録音図書も全国の希望者に聴いていただいています。視覚障害のある方に限らず、通常の読書がしにくい方など、是非多くの方に利用していただきたいです。利用者の皆さんに発送している「声の輪だより」は、図書館からのお知らせ、声の輪からのお知らせ、担当者のコーナーがあり、毎月担当者が変わりそれぞれに工夫を凝らして製作しています。また、利用者の皆さんからのリクエストにもお応えしています。(写真:研修会の体をほぐす体操)</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	現在、長く続けてきたベテラン会員が多く製作しているが、若手会員の育成が課題となっている		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	1年間の養成講座終了後に会員登録する。更に1年間の研修を行いながら製作を進める。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
(ふりがな)	まつざわ ひろこ		
代表者氏名	松澤 弘子		
設立年月日	1973年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com		
活動内容	<p>子どもたちの感性・創造力・生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>◎定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など、様々なジャンルの舞台を、年齢に合わせて鑑賞しています。 鑑賞をきっかけに、視野を広げたり、子どもの自主性を育てる活動を行っています。 ・終演後のバックステージツアー・当日の会場の飾りつけ・出演者との交流会 鑑賞会のあいさつや受付なども、子どもも大人も一緒に行います。</p> <p>◎キャンプ、おまつり、季節の行事など、子どもの自主的なかかわりを意識した活動 今年、コロナ対応を踏まえ、野外で開催。 地区ごとに遊びや工作のコーナーを行いました。 『宝つり(写真)』『芝滑り』『ひょうたんお絵かきコーナー』『忍者体験』『松ぼっくり投げ』『麦わらストローのシャボン玉』など、自然の素材を生かしたり、外で思い切り遊べる時間を過ごしました。</p>		
PRしたいこと	<p>舞台鑑賞の機会に、観るだけでなく、それをきっかけに世界が広がるような、きっかけ作りを行っています。</p> <p>12月のクリスマスコンサートでは、終演後に、楽器体験を行いました。見たことのない楽器を、自分で触ってみたい、音を出してみたい。予想外の音に驚きと、使われている素材(ひょうたん、貝殻、木の実など)にも興味が尽きませんでした。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	赤ちゃんからどなたでも。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

(ふりがな)	くろだにんぎょうほぞんかい		
団体名称	黒田人形保存会		
(ふりがな)	やまだ よしきよ		いつぼ しろう
代表者氏名	黒田人形保存会会長 山田 善清		黒田人形座座長 井坪 司朗
設立年月日	元禄年間(1688~1703年)から300年余り続いていると言われている。 昭和28年(1953年)に黒田人形保存会を結成。		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/		
活動内容	 <p>黒田人形は、1体の人形を3人で操る三人遣いで、300年余り続いていると言われている伝統人形芝居。人形遣い・太夫・三味線が三位一体となって演じる。淡路の昔の技を伝承されていて国選択無形民俗文化財に指定されている。郷土に伝承されている伝統芸能を更に伝承していくのが保存会の活動。人形を動かす人形遣い、義太夫を語る太夫、その伴奏を弾く三味線、撮影その他裏方。下黒田諏訪神社春季禮祭奉納上演(本祭り毎年4月第2日曜日午後1時から宵祭り前日午後6時から)、いいだ人形劇フェスタ、伊那人形芝居公演(四座発表会)。依頼があれば主張上演も行う。特に寿式三番叟は、芝居の幕開けに上演される祝儀の演目であり、五穀豊穡を祈る。江戸後期天明年間(1781~1788年)淡路から黒田に来て人形を教え、黒田の太念寺に眠る吉田重三郎が伝えたといわれている。</p>		
PRしたいこと	<p>黒田人形舞台(指定名称「下黒田の舞台」)は、天保11年(1840年)に再建された人形舞台。本格的な構造・規模・歴史が揃っていて、人形舞台として全国で第1号の国指定重要有形民俗文化財に指定されている。毎年4月に春季禮祭奉納上演が行われている。黒田人形浄瑠璃伝承館は、平成11年(1999年)に下黒田諏訪神社境内隣接地に、人形芝居の伝承の施設として建設された。収容人員120人本格的舞台、楽屋等に使える控室が5室等あり、各種芸能の練習・発表会に適している。毎年11月には伊那人形芝居公演(伊那谷四座発表会)が行われている。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>新型コロナウイルス感染症対策をして、下黒田諏訪神社春季禮祭奉納上演(宵祭り・本祭り)・いいだ人形劇フェスタに上演。伊那人形芝居公演は、無観客で中学生の参加は、高陵中黒田人形部のみで公演、後日飯田ケーブルテレビで配信した。小学校チャレンジ教室では、人形を遣って寸劇が、出来るように指導した。高陵中黒田人形部では、春季禮祭奉納上演、いいだ人形劇フェスタ、高陵祭、伊那人形芝居公演、上郷西保育園との交流会。飯田女子高校人形劇クラブは、女子高祭、いいだ人形劇フェスタ、3年生引退公演に人形遣いと三味線の指導をした。高陵中黒田人形部と飯田女子高校人形劇クラブは、兵庫県や神奈川県の中高生とZoomによる人形浄瑠璃後継者団体交流会に参加。</p>		
困っていること	<p>黒田人形座 座員の募集 定例稽古のなかで、黒田人形の技を伝承していくことが難しいこと。 人形を動かす「人形遣い」。義太夫を語る「太夫」。その伴奏を弾く「三味線」。撮影その他「裏方」。 黒田人形座座員が少ないこと。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>黒田人形座 座員募集 高校生以上。 定例稽古 正月・お盆休みを除いて、毎週土曜日午後7時から9時まで。 上演・公演に出られること。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	こども かがくこうさくきょうしつうんえいきょうぎかい		
団体名称	子ども科学工作教室運営協議会		
(ふりがな)	しおざわ たくや		
代表者氏名	塩澤 卓哉		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	<p>これまで年間4回に分けて実施してきた子ども科学工作教室ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延・予防に対応して、下記のように集中して1回で実施するよう計画しました。しかしながら当初の予定日が感染警戒期と重なり、2月5日(土)に延期して実施することになりました。</p> <p>◇期 日 9月11日※ 13:00～17:00 ※当初の予定日 ◇会 場 エス・バード (コース別に4会場に分散) ◇内 容 Aコース:新企画!プログラミングロボの製作 (定員10名) Bコース:大人気!スペースロボの製作 (定員10名) Cコース:月を観察しよう!天体望遠鏡の製作 (定員10名) Dコース:塩水で発電!燃料電池4WDカーの製作 (定員10名) ◇指導者 子ども科学工作教室運営協議会参加企業10社の社員の皆さん、OIDE長姫高校の生徒さんがとても丁寧に優しく教えてくれますよ。</p> <p>現在、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、2月5日(土)に延期して実施する予定です。コロナの感染状況で当日の開催が難しくなった場合は、会場での開催は中止とし、参加者の皆さんにはキットを配布し、各企業の皆さんが用意してくれた作り方の動画等を見ながら自宅で組み立てていただく予定です。</p>		
PRしたいこと	昨年度子ども科学工作教室運営協議会への参加企業が1社増えては10社となりました。さらに参加企業を増やして指導協力をしていただきたいと思います。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	これまで飯田下伊那の企業と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれています。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受け入れています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きざわちくかつせいかすいしんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	まえざわ のりみち		
代表者氏名	前澤 憲道		
設立年月日	平成3年 4月 1日		
ホームページ	http://tohyamago.com/osusume/kizawa/		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">和田保育園児見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">千代公民館の皆さんとの交流</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・当協議会は、木沢小学校が休校になった平成3年4月に発足し、今年で30年目を迎えました。地域の活性化を図る為、その後廃校になった木造校舎を活用した各種交流による取り組みを行っています。 ・昔懐かしい木造校舎で日常生活からタイムスリップし、癒しの空間で子供のころの思い出に浸ってみませんか。各教室には各種団体の活動紹介や木沢の歴史的(霜月祭り、森林鉄道など)な展示品による紹介がされています。また、校長として親しまれている猫と教頭の犬もおり、訪れる方をやさしくお出迎えしています。 ・昨年度からは、南信州山岳文化伝統の会の顧問である登山家、大蔵喜福氏による「エコ・観光登山」システム構築による遠山郷の地域振興活動も校舎の一室で行われています。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体が企画・計画する各種交流事業等への木造校舎をはじめとする地域資源の提供(一部有償)		
困っていること	役員の高齢化と後継者の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同し会則に従って活動できる方で、当会が認めた方(地域外の方でも可)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティア活動の趣旨に賛同し参加できる方(活動ごとに募集)

(ふりがな)	ひさかたわしのかい		
団体名称	ひさかた和紙の会(旧:ひさかた和紙保存会)		
(ふりがな)			
代表者氏名	牧内 秀幸		
設立年月日	R3年7月21日		
ホームページ	http://info.shimohisakata.com/?cid=8		
活動内容	 <ul style="list-style-type: none"> ○和紙の原料となる楮(4月～11月)、トロアオイ(5月～10月)の栽培、整備作業 ○楮の収穫、蒸し、干し、たくり、塵取り等の作業(11月下旬から12月) ○下久堅小学校6年生の手漉きによるひさかた和紙の卒業証書制作の支援 ○下久堅小学校1～5年生の通年を通した楮、トロアオイの栽培等による郷土学習の支援 ○通年を通した紙漉き体験の受け入れ ○ひさかた和紙の情報発信 ○ひさかた和紙を活用した商品開発 ○ひさかた和紙に関するイベントの企画、運営 		
PRしたいこと	<p>下久堅地区はかつては全村紙漉き村と言われるほど紙漉きが一大産業でした。時代の流れとともに、衰退した紙漉き文化を保存継承するとともに地域内外へ「ひさかた」和紙の魅力を発信することで、下久堅地区の地域の資源として活用し地域内外の交流に繋げていきたいと思ひます。いっしょにひさかた和紙を育ててみませんか？興味のある方はお気軽にご連絡ください。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>ひさかた和紙を活用したイベント等の企画・運営 ひさかた和紙を活用した商品開発 その他ひさかた和紙を活用した連携事業については積極的に行っていきたいと思ひます。詳しくはひさかた和紙の会へお問い合わせください。</p>		
困っていること	ひさかた和紙の魅力をより多くの人々へ伝えること		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特にありません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特にありません。

(ふりがな)	あきばかいどうをあいするかい		
団体名称	秋葉街道を愛する会		
(ふりがな)	さいとう ひろむ		
代表者氏名	斉藤 寛武		
設立年月日	平成15年4月		
ホームページ			
活動内容	<p>昔からの遠山谷との連絡通路・秋葉神社参詣の街道として広く利用された秋葉道＝小川路峠を地域の宝・観光資源として活用することを目的に活動しています。春秋の年2回の街道補修整備作業のほか毎年秋に開催される上久堅観光協会・上久堅地区まちづくり委員会主催の「みんなで秋葉街道探索 小川路峠へ登ってみよう」イベントを共催しています。街道整備は、台風や大雨等の災害や土砂崩れにより街道が寸断されたり、倒木が街道をふさいだりした個所を会員有志で補修し、修復不可能な道は新たなバイパスを設置し通行可能にする必要があり根気のいる地道な努力を続けています。なお令和3年度は、コロナの感染拡大があって、「小川路峠に登ってみよう」のイベントは昨年同様中止としました。</p> 		
PRしたいこと	<p>上久堅地区の秋葉街道(小川路峠)は、峠まで片道約3時間半。街道はよく整備されており、安心安全な山登りコースです。荷物を積んだ馬や炭を担いだ人たちが行き来した歴史の道、秋葉神社参詣の道を踏みしめながら、歴史のロマンを感じてください。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	秋葉街道は、秋葉神社を通して南信州と遠州・三河をむすぶ歴史のある街道であり、他の地域にも存在します。秋葉街道の歴史や文化を保存したい、活用したいと思う方、団体の方々と連携できたらと思っています。		
困っていること	会員の高齢化で作業できる会員が減少している。さらに若い会員の加入が実現できていない		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	都合がつけば街道整備作業に参加できる、山歩きの好きな方大募集中
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	秋葉街道の歴史に詳しい方、樹木や植物に造詣の深い方、崩落地の復旧の工事に詳しい方など助言をいただければありがたいです。

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	はら かずよ		
代表者氏名	原 和世		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	https://kinehara.com/		
活動内容	<p>杵原学校は、山本の学びと交流の拠点です。学びでは、子ども教室と大人の座学を行っていますが、もっと皆さんに活動を知ってもらい、参加してもらうために杵原学校ニュースも2ヶ月に1回発行しています。令和3年からは「楽しく学ぼう」をテーマにドキドキする様な体験を用意しています。年間計画など詳しくはホームページをご覧ください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>②</p>  </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>①ロケット製作 ②野菜の収穫 ③土器焼き</p> </div>		
PRLしたいこと	杵原学校は、昭和24年山本村の将来を担う青少年のために、独立中学校を建設しようと村民の熱意から建設されました。建設にあたり、村民1戸3日の奉仕により実施されるなど、多くの村民手作りの学校です。昭和60年に統合により廃校になるも取り壊されず、20年を経て地区民の熱意により再び学びの場によみがえりました。その想いを子供たちに伝えて行くことが杵原学校応援団の中心にあります。校舎は木造平屋のシンメトリー建築、平成17年「国登録有形文化財」に認定。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	杵原学校応援団は、いつでもできるときにできるだけの事をしていく、そんな気楽な団体です。どなたでも結構です、子どもたちとかかわってみたい、なにかやってみてみたいという方は大歓迎です。応援団の活動をもっと面白くしてくれる人、是非どうぞ。		
困っていること	これまで地域の文化や、農業体験にこだわってきましたが、これからはもっと学びの範囲を広げて、子供たちが楽しくて、興味を覚えそうなジャンルを取り入れていきたいと考えています。本物体験に力を貸してくれる個人・団体の方をどなたか紹介してください。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	条件など全くなし、会則・会費などありません。手当は若干の交通費のみです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティアと団員の区別はありません。お気軽にご参加下さい。

(ふりがな)	みなみしんしゅういーだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年 6月		
ホームページ	https://i-kagaku.net/		
活動内容	 <p>令和2年度 活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム(16回実施 1,097名参加)(コロナ対策のため週1で開催) ・出前工房(18回実施 569名参加) ・幼稚園、小学校等の支援活動(14回実施 883名参加) ・科学実験教室(25回実施 1,093名参加) 		
PRしたいこと	<p>南信州飯田おもしろ科学工房は、飯田市出身のサイエンスプロデューサー(故)後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まりました。</p> <p>かざこし子どもの森公園おいで館を拠点に、理科実験ミュージアムや学校や公民館への出前工房などを開催しています。子どもも大人も楽しめる実験を目指し、また科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験や工作の指導、実演を行っています。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちには考える力や科学の興味を、楽しさを知った大人には科学を通じた地域活動の輪を広げてもらえるよう、地域を活性化していく一助になりたいと思います。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の企業や高校、公民館などと連携しながら科学の輪を広げていきたいと考えています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科や科学が好きな方、子どもが好きな方なら特に資格は問いません。

（ふりがな）	おみのさとしんこういいんかい		
団体名称	麻績の里振興委員会		
（ふりがな）	つつい せいいつ		
代表者氏名	筒井 誠逸		
設立年月日	平成 11年 4月 1日（平成16年再編成）		
ホームページ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">座光寺</div> で検索 http://zakoji.jp		
活動内容	<p>座光寺地域中段には元善光寺・高岡1号古墳(県宝)・麻績学校舞台校舎(県宝)・南本城(県史跡指定)・麻績の里舞台桜(市天然記念物)・石塚桜(石塚古墳の上)さらに恒川官衙遺跡(国史跡指定)等文化遺産が集積している。これらの文化遺産ゾーンを保護活用して地域振興のため、地域住民が自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開してきた。</p> <p>具体的内容: 主な内容として、 1班: 元善光寺・元善光寺・高岡1号古墳(県宝)の活性化 2班: 南本城の山林間伐・遊歩道の草刈・史跡案内看板等の整備 3班: 麻績学校校舎の活用と舞台桜保護と周辺整備 4班: 南信州を軸とする竹宵による地域活性の展開</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>麻績の里舞台桜</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>元善光寺 門前町の小菊</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>南本城遊歩道整備</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>麻績竹宵の会「かぐや姫」</p> </div>		
PRしたいこと	<p>『自ら考え自ら行動する麻績の里づくり』を合言葉に地域の有志ボランティアで活動を継続している。会員の職業も様々で事業においては参加できない時もあるが強制的な召集はしていない。活動にあたっては“自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる”が継続の力となっている。</p> <p style="text-align: center;">☆座光寺のホームページを ぜひご覧ください☆</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後はリニア建設・開通に伴い、様々な地域状況や生活の変化が生じ、なにより長野県の玄関口として県内県外大都市から人の往来により、広範囲な交流・国際化が想定される。そのような変化を機として座光寺地域の魅力を発信し地域振興のため、従来からの活動の継続と充実はもとより、新たな発想で新たな活動および組織柔軟な対応が必要となる。それらを課題とした他団体との意見交換や交流を行いたい。</p>		
困っていること	<p>会員は年代が殆ど50代以上の男性であり、若年層や女性の加入が課題</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	作業を笑顔で出来る方

(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	遠山山の会		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ	https://tohyamago.com/view/tohyama-yamanokai/		
活動内容	   <p>中学登山サポート 千代峠 R3 便ヶ島森林公園草刈り作業 R3 易老渡簡易トイレ修繕 R3</p>    <p>登山道土砂除去 R3 登山道倒木処理 R3 登山道倒木処理 R3</p>		
PRしたいこと	   <p>聖岳(百名山) 光岳(百名山) 池口岳</p> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。 徒歩可となった芝沢ゲートから先について、道路の早期復旧によりタクシー等利用が可能になることを願っています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

(ふりがな)	おみたけよいかい かぐやひめ		
団体名称	麻績竹宵の会 かぐや姫		
(ふりがな)	くしはら つなよし		
代表者氏名	櫛原 綱由		
設立年月日	平成17年		
ホームページ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">座光寺</div> で検索 http://zakoji.jp		
活動内容	<p>竹宵による地域振興と会員の交流や親睦に取り組んでいます。また、麻績の里振興委員会4班として、地域住民の主体的な参加による麻績の里の一体的な振興を図ります。地区内の竹を伐採し、竹林整備の一翼を担っています。</p> <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○桜花竹宵 舞台桜周辺や公民館から石塚桜の間に竹ぼんぼりをならべ桜のライトアップとともに幻想的な光景を演出します。 ○座光寺夏祭り 子どもたちが願い事を書いた竹ぼんぼりを飾り、宵闇とともに点火します。 ○除夜の竹宵 石の鳥居から麻績神社に続く階段や境内などに約2000本の竹ぼんぼりをならべ、2年参りで訪れる方をお迎えします。 ○壮年団との協力 壮年団に竹宵の活動に参加してもらい御礼として麻績神社の春祭りに協力し、お互いに協力体制をとっています。 		
PRしたいこと	<p>平成23年に南信州地域づくり大賞(知事賞)を受賞しました。渋谷区との交流の中で、表参道の竹宵かざり、渋谷駅前のハチ公から道玄坂の竹垣づくりも行っています。これからも、竹宵による地域振興を気の合う仲間と楽しく活動していきます。活動の様子は座光寺地域自治会ホームページで紹介していますのでぜひご覧ください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他地区の竹宵に取り組んでいる団体と連携し、南信州全体を盛り上げる。		
困っていること	コロナにより、座光寺地域のお祭り(春祭り・桜まつり・夏祭りなど)が中止になり、それに合わせ竹宵の活動もなくなっているため、活力の低下を心配している。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	作業を笑顔で出来る方

(ふりがな)	ちいきぐるみかんきょうあいえすおーけんきゅうかい		
団体名称	地域ぐるみ環境ISO研究会		
(ふりがな)			
代表者氏名	—		
設立年月日	1997年11月（設立時の名称は「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」）		
ホームページ	https://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujuhou/isokenkyuukai.html		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>研究会参加事業所の実務者全体</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>南信州環境メッセ2021への出展</p> </div> </div> <p>研究会の「活動理念」は、地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。参加事業所それぞれの枠を超えた活動を展開し、「点」から「面」を合言葉に、地域全体で環境改善活動を展開することを視野に入れて活動している。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)ISO 14001の認証取得・継続審査の相互支援 (2)従業員・職員を通じての環境意識の向上 (3)地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の構築・普及 (4)温室効果ガス削減に向けた省エネ等対策の普及 (5)講師を招聘してのISO関係の研修会の開催 (6)市の環境行政への支援 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・年々顕在化してくる環境問題に対し、地域内の事業所同士で課題を共有しつつ、将来にわたり持続可能な事業活動を行うべく活動を1997年から20年以上行っている。パリ協定やSDGsが社会実装される中、行政の環境政策のエンジン役としての活動はもちろんのこと、従業員を通じた社会変革の一翼を担っている。 ・現在70事業所で運用されている中小・零細事業所向けの地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は、研究会が構築・審査・支援を行っている仕組みである。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体への省エネなど環境一斉行動週間への参加の呼びかけ ・講師を招聘してのISO・環境関係の研修会への参加のよびかけ ・研究会主催や飯田市との共催による環境講演会やセミナーへの参加呼びかけ ・地域内におけるSDGsへの取り組みの検討 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会の活動理念や活動内容に賛同でき、ボランティアな活動に関われる事業所
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会そのものがボランティアな活動を行う組織であり、「南信州いいむす21」の審査・支援など研究会会員事業所の実務者等によりボランティアな活動によって進められている。

(ふりがな)	つなぎ(しもくろだひがしゆうしのかい)		
団体名称	繋(下黒田東有志の会)		
(ふりがな)	のまき のりお		
代表者氏名	野牧 詔男		
設立年月日	平成27年 3月18日		
ホームページ	なし		
活動内容		<p>①昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として会場内が密になる事を避けるためにもみじライトアップとイルミネーション設置は中止した。今年は設置するエリアと本数を少なくして、もみじライトアップのみ実施した。協賛金募集やポスター作製などの広報活動は行わず、SNSからの発信だけとした。例年楽しみにしている方が多く会員の励みになっているので、来年は是非通常開催ができればと願っている。</p>	
		<p>②数年にわたり本町1丁目トップヒルズのイルミネーションの設置依頼があり協力をしている。毎年少しずつ工夫をしている。12月初旬～2月中旬まで点灯しているので楽しんで欲しい。</p>	
PRしたいこと	<p>会の立ち上げ前からの活動を含め10年が経過する中で、ライトアップ・イルミネーション事業だけでなく、会場となる公園の美化作業や地元地区の催事にも積極的に関わってきている。 会員の募集は現在は地区内だけにしている。会の活動が少しでも地域の元気の基になればとの思いは変わらない。 無理なく長く続けていける会でありたいと思っている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在はない		
困っていること	現在はない		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	上郷下黒田東地区に居住の方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	おのごく		
団体名称	小野子区		
(ふりがな)	きたざわ やすみ		
代表者氏名	北沢 保美		
設立年月日	明治22年		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>○58世帯、150名余の小野子区も少子高齢化が進んでいますが、主な活動としては、全戸参加の山作業、春・秋の祭と二年参りの投げ餅等は継続しています。 ○小野子支援隊は、区民の有志20名余によって組織されています。地区内での困りごとを助け合うことにより、区民が安心して暮らせるとともに、豊かな自然環境を何時までも保持するために、依頼のあった田畑の草刈りや倒木処理、除雪等様々な作業をしています。 ○小野子人参クラブは、古くから当地区で栽培されていた人参やごぼうを復活させて17年になります。地区内の会員も含めて30名余で活動しています。夏場の草取り等は人力に頼るしかなく、苦労も多いです。11月初旬の収穫祭には、地区内外の人も多く訪れています。</p>		
PRしたいこと	<p>○「全日本ゲタ飛ばし大会」は、平成11年より毎年11月3日(祝)に開催しています。「あした天気にな〜れ」等、自分の願いを大声で叫びながら、ゲタを飛ばします。ゲタの表が出る「晴れ」の場合だけ飛距離が計測されます。誰でも参加できます。 ○小野子諏訪神社も、来年「御柱祭」の予定でしたが、コロナ 禍では自由に飲食できず楽しめないことから、令和5年4月に 延期しました。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・人参クラブのように、当地区民以外でも関心のある人と活動を共にしていきたいです。 		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・当地区も少子高齢化で人口も減少しています。様々な活動が10年後も可能であるような対策を検討していきたいです。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・小野子に定住して、区民になることです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな) 団体名称	ふれあいぼらんていあ もみじのかい ふれあいボランティア もみじの会		
(ふりがな) 代表者氏名	なかじま しげる 中島 茂		
設立年月日	平成 26 年 11 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>◎上の写真は(きよしのズンドコ節)を練習しているところです。</p> <p>昨年からのコロナ禍で活動を停止していましたが、今年度の10月から一ヶ所で、11月から二ヶ所が再開されました。毎月の打合せにて、出演曲や踊りの練習をしています。</p>	 <p>◎上の写真は施設にて(花笠音頭)を踊っているところです。</p> <p>利用者さんと職員さんも、毎回喜んで一緒に手や足を動かして踊っています。</p> <p>出演メニューは大正琴で童謡・唱歌、カラオケで手作り歌集を見ながら歌を唄います。</p>	
PR したいこと			
他団体との連携が可能なこと したいこと	踊りやフラダンスなどを、ボランティアで活動していただける団体を、今後とも受け入れて行けたらと思っています。		
困っていること	特にありませんが、何れ会員の高齢化と訪問地(施設)への移動車両の確保が困難になります。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	60 歳代又は 70 歳代前半の出来れば女性
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域の高齢者等介護施設において(歌うボランティア)を必要としていますので是非私達と一緒に地域の高齢者と交流し自分達もパワーアップしましょう。

(ふりがな)	ななわのかい		
団体名称	特定非営利活動法人 七和の会		
認証年月日	平成20年 1月 22 日		
(ふりがな)	クマガイ ヒデオ		
代表者氏名	熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8810番地4		
ホームページ			
主な活動分野	・地域住民の福祉増進・不動産の有効利用による地域活性化・地域資源の掘り起こしによる、地域振興・会員相互の連携		
活動内容	<p>○よりあい処「ほたる」の運営(地域住民交流の場) 毎週土曜日飲食店を営業</p> <p>○第14回ほたる祭り コロナで中止しました</p> <p>○第14回きのご祭りの開催 令和3年10月10日(日)</p> <p>○農産物直売所の運営 毎週日曜日営業</p> <p>○天龍峡マルシェに出店し、きのご・野菜の販売</p>		
			
PRしたいこと	<p>○27年オープンしたよりあい処『ほたる』の運営・毎週土曜日に飲食店を営業しております・地域住民の憩いの場として人気です。毎月第3週には落語の会「ほたる寄席」開催しております。</p> <p>○4年度もほたる祭り・きのご祭りを開催を計画します。多くの皆様のご参加を期待しております。</p> <p>○産直事業は「産直の店ふれあい七和館」と称して毎週日曜日に開店しております。地域の主婦を主体に新鮮な野菜類の販売を続けております。是非一度ご利用を！</p>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>ほたる祭りは平成24年度から龍江4区地域づくり委員会と共催しています。 (昨年に続き、今年度も中止)</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	はなのきとものかい		
団体名称	はなのき友の会		
(ふりがな)	しょざわ あさこ		
代表者氏名	所沢あさ子		
設立年月日	1993年3月23日		
ホームページ			
活動内容	 		
PRしたいこと	<p>ハナノキ湿地は南や中央アルプスが隆起する前、まだ伊那谷が平だったところ数百万年以上の長い年月がかけられて形成された地形です。ハナノキ湿地を遺すことにより湿地には北の高山から低地に下りてきた植物や地球が暖かかったころの植物等が雑多に遺っています。それらの植物はこの地方の固有種であったり、絶滅危惧植物になっており大変貴重なものです。私たちは、ハナノキ湿地の保全のために湿地の保全活動、生態調査、座学、観察会など行っています。調査は環境省の企画「モニタリングサイト1000」の里山について参加し、植物、鳥、チョウ、哺乳類カメラセンサー3台設置で調査をしています。15年目が終わり、おおむね100年間の予定でいます。足元の自然をよく見ることで発見や感動が沢山あります。竹藪の中にツルの様に伸びていたハナノキも、竹やぶ払いを続け今は、群生地となって、春には赤い花、翅果がエドヒガンや、新緑の中で美しいです。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>伊那谷自然友の会、東海自然学園、坂本湧水湿地の会、小学校、などの観察会、座学を行ってきました。山本公民館主催の文化祭、ロビーの展示も毎年行ってきました。今後もその輪を広げていきたい。</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費 1500円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

(ふりがな)	しんしゅうじん		
団体名称	間伐ボランティア 「森集人」		
(ふりがな)	おそ みきお		
代表者氏名	尾曾 幹男		
設立年月日	平成28年4月1日		
ホームページ	お問合せ：事務局長 越智 080-5001-6134		
活動内容	<p>1、間伐と搬出 2 間伐研修会開催 3 特別事業 天竜川河川敷での樹木伐採事業</p> 		
PRしたいこと	<p>私たちは、小さな取り組みであるが、あせらず一歩一歩進めてまいりたい。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>森林に関わる団体と交流を深め 横の繋がりを創っていききたい。間伐作業に協働して取り組みたい。</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>①森林保全や利活用②間伐作業③間伐知識とその技術習得 に関心のある方</p> <p>大歓迎デース</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>自家の間伐作業にお困りの方にボランティア活動で支援します</p>

(ふりがな)	かわじしちく「あいおいはないっぱいうんどう」		
団体名称	川路七区「相生花いっぱい運動」		
(ふりがな)	いまむら さとし		
代表者氏名	今村 智司		
設立年月日	2017年 4月 1日		
ホームページ			
活動内容	 <p>天龍峡秋の彩展に協賛して、ドーム菊を生産、供給しています。天龍峡一帯に600鉢配備し、地元の方及び観光客に喜んで頂いております。更に天龍峡マルシェ等で一般の方にも販売も行っております。</p> <p>又川路七区の空き地をお借りして、花中心のミニ公園を造成し、春はチューリップとパンジー、夏はマリーゴールド等の花を植え、地元の方や通学時の小中学生に喜んで頂いております。</p>		
PRしたいこと	<p>会の活動も5年目になりました。お母さんと一緒にいつも花畑の作業に参加して頂けるかわいい2歳だった女の子も、早6歳。今も一生懸命手伝ってくれます。94歳の元気なお年寄りも、いつも参加してくれておりましたが、残念ながらお亡くなりになりました。地域の小さな組織ですが、地域の方に喜んで頂けることを励みに頑張っております。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ドーム菊を育ててみたい団体の方には苗をお分けします。4月までにご連絡下さい。		
困っていること	継続して活動を進める仕組みづくり		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	川路七区在住の方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	川路七区在住の方

(ふりがな) 団体名称	のうゆかい <h1 style="text-align: center; color: green;">農愉快</h1>		
(ふりがな) 代表者氏名	まの たかし 眞野 貴司		
設立年月日	平成23年4月1日		
ホームページ	お問い合わせ 事務局:尾曾 090-2730-3645		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在会員 16名 ・ 月3回程定例会 (3月から12月) ・ 野菜作り・収穫祭 (夏・秋) ・バザー出展 ・ 味噌づくり・研修視察 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
PRしたいこと	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">超高齢社会だ</p> <p style="text-align: center; color: green; font-weight: bold;">羽ばたけシニア世代</p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">協働で野菜作りに取組み</p> <p style="text-align: center; color: black; font-weight: bold;">「健康・交流・地域貢献」</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">生き生き人生をGET</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	生き生き人生求めている方々 大歓迎
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅういだいそばたつじんのかい		
団体名称	南信州飯田蕎麦達人の会		
(ふりがな)	にしな たもつ		
代表者氏名	仁科 保		
設立年月日	平成8年3月		
ホームページ			
活動内容	<p>全国本物体験教育旅行の子供達のそば打ち教室、一般そば打ち教室毎月2回(24年続くも令和3年11月で終了)</p> <p>写真は、上久堅でのそば打ち講習会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
PRしたいこと	<p>そばがきも美味しいです</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>長年活動を続けてきましたが、会としての活動は終了し、体験旅行でのそば打ち教室のみ継続します。南信州でのそば打ち文化の継承と発展を祈っております。</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	おのごしえんたい		
団体名称	小野子支援隊		
(ふりがな)	きたざわ かぞう		(きたざわ たかおみ)
代表者氏名	北 沢 嘉 三 (問い合わせ等一事務局・・・北 沢 孝 臣)		
設立年月日	H28年 9月26日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <ul style="list-style-type: none"> ○ 隊員によるペイローダ等を使った幹線以外の生活道路の除雪作業 ○ 依頼のあった遊休荒廃地及び空家周辺の草刈り ○ 依頼による支障木の除去作業 ○ 高齢者世帯の畑の耕起等畑の整備 ○ バックホー等重機を使った田畑土手の補修作業 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区に若者が少なく隊員も年々高齢となり、平日は勤め人が多く高齢者ばかり等課題はあるが、美しい環境を保ちたいとの気持ちを大切に、依頼があれば自分の仕事はさて置いてでも優先し、活動している。 ○ 後期高齢者世帯が多く、以前作付けしていた田畑は荒れ、雑草が生茂り遊休荒廃地が拡散するばかり、そうした現状を見兼ねて立ち上げた経緯もあり、また、男手の無い世帯などは無償で支援したいのが究極の目的 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「上久堅の美しい景観を創る会(令和3年5月発足)」少子高齢化で生茂る山林、原野そこで少しでも美しい山里の景観を残そうと地区有志で立ち上げたボランティアグループ。「支援隊」と主旨は通じるところもあり、双方に関わっているメンバーもいる。小さな上久堅、地区互いに協議・協力し、地域人の応援も受け活動したい。 ○ 小野子区と連携し遊休荒廃地をなくし、美しい自然環境を保持したい。 		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 隊員の高齢化が進み、依頼作業にも負担を感じてきて、若手の加入が望まれる。 ○ ボランティア的団体のため、除雪等のペイローダ等大型機械は個人所有の物を借用し対応しており、わずかな御礼で済ませる等資金不足に難 ○ 女性隊員が何名か加入しているが、女性に適した作業の依頼に乏しく、苦慮している。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 隊員は小野子地区内の者に限り、年齢等は問わない。 ○ ボランティア的精神で依頼事等に臨むこと。 ○ 隊への加入・脱退は条件等無く自由
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと まさる		
代表者氏名	会長 藤本 勝		
ホームページ	https://kyohoku-syunso.sakura.ne.jp/core/		
メールアドレス	kyouhoku_ma@mis.janis.or.jp	QRコード	
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「誰もが安心して暮らせる 春草を生んだ歴史と文化の香り高い きらめくまち 橋北」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ここで子どもを育てたい」魅力的な橋北 ○次世代が希望をもてる橋北 ○福祉が充実し、支えあいができ、幸せを感じることができる豊かな橋北 ○歩きたくなるまちなみ、人のつながり夢のある橋北 ○歴史と文化に誇りと愛着を持てる橋北 ○落ち着いた清らかな橋北 ○災害に強い安全安心な橋北 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○橋北地区基本構想・基本計画の推進 平成30年度に策定した地区基本構想・基本計画の実現に向け、7つの分科会で具体的な活動が展開されました。</p> <p>第1（子育て）小学校の長期休暇における子ども教室。～ながら見守り活動の推奨。 第2（若者）飯田コアカレッジとの協働により、地区公式ホームページを開設。 第3（福祉）65歳以上男性による囲碁ボール大会を開催。 第4（街並み）空き家リストの定期更新と地区内向けリーフレットの作成。 第5（歴史文化）春草通り案内看板の設置と明大との協働によるイベントを開催。 第6（環境）不用品の情報交換、町内ゴミの分別学習会を実施。 第7（防災）地区防災計画の作成と更新。</p> <p>○橋北記憶遺産の継承事業(まるごと博物館研究会) 春草没後110年記念関連事業に案内ガイドを派遣。来飯した大学生などを献身的に案内、春草通りや地区内の歴史的建造物等を説明。春草かるたの制作など。</p> <p>○北斗のまち・イルミネーションフェスタの開催 平成21年に、旧飯田測候所を活用し多くの人にもっと知ってもらいたいとの思いで始まったこのイルミネーションフェスタも、今では冬の風物詩の一つとなりました。 今年度のテーマは“愛”と“みんなの笑顔”。今年もコロナ禍で大変な1年でした。多くの皆さんが前を向き、明日への一歩を踏み出せる、そしてみんなの笑顔が溢れるように、そんな思いで取り組みました。</p>  <p style="text-align: center;">夏休み子ども教室</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○旧飯田測候所の利活用</p> <p>○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用</p> <p>○歴史的建造物の保存活用</p> <p>○空き家の利活用</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<p>○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用</p> <p>○空き家の利活用</p> <p>○イルミネーションフェスタ飾りつけ</p>

(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	たけうち ふみたか		
代表者氏名	会長 竹内 文隆		
ホームページ	『橋南room』 https://kyounan-room.sakura.ne.jp/site/		
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 歩いて暮らせる街 ～市街地の魅力でチャレンジできる街をめざして～ ② 人と人のつながりが強い街 ～自治の力で誰もが暮らしやすい街をめざして～ ③ 伝統と文化の中心地 ～彩り豊かな城下町とりんご並木の街をめざして～ ④ まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮 ⑤ 環境にやさしいまちづくりの形成 ⑥ 地育力の醸成・・・公民館活動の充実、小中学校連携の強化支援 ⑦ 道路・河川等の環境整備 ⑧ 中心市街地の活性化促進 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域一体となった諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、ほか ○ 防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備 ○ 通り町・主税町の分離帯ラベンダーの維持管理 ○ りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会の賛助会員として作業協力、収穫祭、周辺清掃など ○ 地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、大火復興おひまち) ○ 公民館移転事業 長年の懸案であった拠点施設である公民館が、りんご庁舎3階へと移転することが決まり、プロジェクト会議によるレイアウト設計や備品購入計画が協議された。新公民館の開館は令和4年5月の予定。 ○ りんご並木を中心とした回遊性の創造 飯田市動物園と連携し、四季の広場(扇町公園)で、毎月第三日曜日に朝市を開催。30を超える出展ブースが飯田市内から集まり、来場者は500人を超える。今後は周辺施設との連携による回遊性の発展を協議。 		
			
	朝市と連携した夏まつりは大盛況		3年ぶりに開催した大運動会
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい	
名 称	羽場まちづくり委員会	
(ふりがな)	しのだ のぶひで	
代表者氏名	会長 篠田 信秀	
ホームページ		
メールアドレス	habamachi@gmail.com	
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	安全安心で住みよい羽場地区 羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する各種事業を進めています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場 2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 3. 命を大切にする住みよいまち羽場 4. 女性が輝くまち羽場 5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館 6. 清潔で花あふれる羽場 7. 羽場地区土地利用計画の充実 ○現在は、特に令和2年4月に立ち上げた「猿庫の泉愛護会」(猿庫の泉保存会・曙友会・羽場まちづくり委員会)を中心に、長い歴史をもつ猿庫の泉の保全・活用に取組んでいます。	
重点事業又は特徴ある事業や活動	   	
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「猿庫の泉」の保全・活用について、地元企業・関係団体・住民・小中学生・地区外の関心ある方々と共に取組みたい。 地元企業、市民団体、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。	
ボランティア募集希望の有無・内容	有	「猿庫の泉」周辺整備などについて、ご協力いただける方はご連絡ください。 「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曾線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。

(ふりがな)	まるやままちづくりいいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう わたなべ よしぞう		
代表者氏名	会長 渡邊 嘉藏		
ホームページ			
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2024年度)</p> <p>自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>◎リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域振興【インフラ整備の促進と地域資源を活用した安心安全な地域づくり】 2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】 3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】 4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】 5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】 6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】 <p>◎計画に基づき各種事業を実施(R3年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラ・カワラナデシコ・ベニマンサク育苗 ・風越山夕源平山林整備 ・森林体験等のイベント企画・実施(ツリークライミング) ・交流人口増に向けた学習会、研究会の開催 ・主に登山客を対象としたブルーベリー狩りに向けた環境整備 ・風越山の環境保全のための携帯トイレ普及啓発 2 防災訓練の実施(防災倉庫備品点検、避難者収容間仕切り配置訓練の実施) 		
			
	<p style="text-align: center;">カワラナデシコ ポット移</p>		<p style="text-align: center;">防災訓練(避難者収容配)</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	ブルーベリー圃場整備 風越山夕源平山林整備

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)	おおば たかし		
代表者氏名	大場 孝		
ホームページ			
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「桜並木を大切に、歴史と伝統を守る、人にやさしいまち」をめざします。</p> <p>○東野地区基本構想・基本計画の推進 7つの部会が中心となりさまざまな事業を実施しています。 今年度はコロナ禍でも『できることをする、できるように考える』ように、活動をしました。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>□ 避難所運営ゲームは、「コロナ禍でどのような避難所を作るか」をゲーム形式で学びます。今年「女性目線で避難所を開設する」というテーマで行い、様々な意見でもり上がりました。この活動は、誰もが避難所で困らない知識を身に着けることを目標としています。</p> <p>○大宮通り桜まつり・桜並木イルミネーション 東野地区のシンボルである桜並木の賑わいを創出するため、大宮通り桜保存会を中心に「桜まつり」及び「桜並木イルミネーション」を実施しています。「桜まつり」は、今年も雨のため残念ながら中止となりましたが、「桜並木のイルミネーション」も12月にはムトス飯田助成金事業を使い、も範囲を延長しました。点灯式にはサンタクロースも参加し、飯田市長と式を盛り上げてくれました。今年は装いも新たに、市長のカウントダウンを皮切りに12月11日(土)から1月28日(金)まで点灯いたしました。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○寺子屋「ひがしの」 地域内での社会体験を通して地域に関心を持ち、地元へ愛着や誇りを持つ子どもの育成、地域の大人との交流を通して顔の見える関係づくりなどを目的に東野地区基本構想の担当部会と公民館等が連携し寺子屋「ひがしの」を開催しています。子ども達も地域の方々と、ドライアイスを使った実験や竹を使ったおもちづくり等、一緒になって楽しみました。</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	4月初旬に開催する「大宮通り桜まつり」のスタッフ



避難所運営ゲーム

桜並木イルミネーション



寺子屋「ひがしの」

(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	まきのみつあき		
代表者氏名	牧野 光彰		
ホームページ	http://zakoji.jp		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p style="text-align: center;">あなたも私も暮らしやすい 自然・歴史・文化・ものづくりが煌く新舞台「麻績の里 座光寺」 [自ら考え自ら行動するまちづくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心通い合うコミュニティーを創造するまちづくり ・一人ひとりが地域に学び、生涯成長できるまちづくり ・自然と歴史・文化を活かし育むまちづくり ・健やかに安心して暮らせる住みよいまちづくり ・地域特性を活かした元気な産業のまちづくり ・人と自然に優しいインフラ整備 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域住民参画のもと策定した、第2次基本構想・基本計画がスタート (H29.4～R11.3)。R3～4年度で、後期に向けた見直しを実施。</p> <p>○長期的な視野に立った取組を行うために、有志で結成する特別委員会を設置 ・麻績の里振興委員会 ・水辺の広場委員会 ・麻績の里ふるさと応援倶楽部 ・歴史に学び地域をたずねる会 ・パノラマファーム大門</p> <p>○リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を設置し、リニア・SIC・アクセス道路・国道153号北改良等の課題に対応</p> <p>○国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして、市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を設置</p> <p>○都市と農村交流による新たな価値観の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進、渋谷区へのリンゴの植樹・管理、渋谷区からの自然体験ツアーの受け入れ、渋谷くみん祭への参加、渋谷・座光寺～絆～シードルプロジェクト『渋谷と座光寺のりんごでシードルをつくろう!!』</p> <p>○地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源を活用した体験学習への取組強化 また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの運営</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>浪漫の郷座光寺案内人 お披露目</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>座光寺スマートインターチェンジ開通</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざわ なおと		
代表者氏名	会長 宮澤 直人		
ホームページ			
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○第3次松尾地区基本構想 まとまりつながりおもいやり 笑顔あふれるまち やらまいか松尾</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたと一緒に作る私たちのまち ・安全でゆとりある生活空間の創出 ・鳩ヶ嶺八幡宮や天竜川を活かした新たな交流の促進 ・豊かで自然と共存しきれいですみやすいまち ・人と人がつながり心身ともに健康なあたたかいまち 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として11月初旬から中旬に実施。今年度は新たな試みとして、地元企業の協力を得て「プロジェクションマッピング」を実施し、地域内外の大勢の人に訪れていただくことができた。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、小学校クラブ活動を指導。</p> <p>○グリーンベルトの保全 松尾西部の段丘にあるグリーンベルト(緑地帯)の保全活動。26年度から飯田市の里山保全事業を導入し、間伐等を実施。</p>		
			
	紅葉ライトアップ		学校支援ボランティア
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう まつもと とみお		
代表者氏名	会 長 松本 富雄		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第9次下久堅地区基本構想(H30.3月 策定) 「自然も人も輝ける里 ひさかた」 2018年度～2022年度</p> <p>①みんなでにぎわい、心豊かな里づくり ②地域の絆を深め、安全・安心に暮らせる里づくり ③誰もが心豊かに暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり 地域の団体や下久堅小児童等の協力で樹齢700年といわれる「梶曲輪の桜」の保全を行っている。さらに小学生が梶曲輪の桜の種を拾い、育てた苗を卒業の記念樹として各家庭に贈呈している。</p> <p>(2)ひさかた和紙の保存・継承 ひさかた和紙の会が中心となり、小学生が地元で栽培した和紙の原料を使用して、卒業証書作りに取り組んでいる。また、まちづくり委員会が指定管理者として管理している施設内にある紙漉き工房を拠点に紙漉き体験をすることができる。</p> <p>(3)地域ぐるみで子育て支援 子どもたちの居場所づくりの一環で、放課後子ども教室を週4回実施しており、住民ボランティアを中心に地域をあげて子育ての支援を行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ひさかた和紙の紙漉き体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>放課後子ども教室の紙芝居</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)ひさかた和紙の保存・継承活動 (2)UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ひさかた和紙の活動への協力 ・放課後子ども教室のボランティアスタッフ

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	たなか たかお		
代表者氏名	会長 田中 隆男		
ホームページ	http://kamihisakata.net (上久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>〈目指すまちの将来像〉 未来をひらく 人と人が支え合う 元気な上久堅</p> <p>〈目指すまちの将来像に向けて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然と共に 安心して住み続ける まちづくり ・支えあい見守りあい 健康に暮らせる まちづくり ・日頃から防災意識を高め 互いに協力し合う まちづくり ・熱意と創意で協力し 地域の発展を進める まちづくり ・自然や文化を基底にした 学習と交流が展開される まちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 令和3年度 重点事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基本構想・基本計画の推進 基本構想・基本計画の実現に向けた活動を実施。 ②まちづくり委員会等の組織の見直し 組織体制及び事業内容の検証を開始しました。 ③空き家対策について特別委員会を設置し活動開始 基本構想でも重点課題としている、空き家対策について実施に向けた検討を行い、活動を実施しています。 ④観光振興特別委員会を設置し活動開始 イベントの推進及び各種団体の繋がり強化を図るため本年度から、特別委員会を設けて活動が開始されました。 ⑤屋外広告物の不要看板について撤去・改修を開始 まちづくり委員会が設置した屋外広告物について、順次撤去、改修を進めています。 <p>2 特徴的な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者健康対策事業:「食工房 十三の里」による高齢者向け配食サービス支援 ②上久堅ブランド品開発事業:「食工房 十三の里」による地域ブランドでパンの販売開始 ③JA上久堅給油所給油補助制度:給油所存続延長のため給油に対して支援 		
	<p>空き家売買後の改修</p> 		<p>北田遺跡解体作</p> 
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地区の活性化、振興に関すること		
ボランティア募集希望の有無・内容	内容	条件	

(ふりがな)	たつえちいきづくりいいんかい		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう きのした ひろし		
代表者氏名	会長 木下 博史		
ホームページ	www.tatue.jp		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>だれもが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>① 【経済・産業・観光】 人も資源も経済も循環持続し、人が行き交う地域 ② 【子育て・健康・福祉】 あらゆる年齢のすべての人々が、健康に暮らせる地域 ③ 【防災・環境・安全】 美しい自然を活かし、安全安心で、災害に強い地域 ④ 【絆・文化・人材育成】 絆を大切にし、互いに助け合い、学び合う地域</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>①-1 南信州龍江アウトドアフェスの第2回目開催 -2 空き家調査と移住定住の促進 中山間地域振興住宅で1棟建設 -3 タケノコの水煮加工(食育や放置竹林の整備) -4 龍江小学校太陽光発電設置。</p> <p>②-1 子育て支援活動 ・出産および新入学生へお祝い金の贈呈 ・「龍江子育て支援商品券」発行事業 (0歳～小学6年までの子供がいる全世帯へ¥1500/子供1人を配布) -2 結婚相談支援の「むすび隊」結成(平成 年)現在活動中。 -3 竜東4地区合同「婚活イベント」の実施</p> <p>③-1 水辺の楽校付近の草刈り隊活動 -2 小学校子供見守り隊活動</p> <p>④-1 龍江芸能祭、絆駅伝 -2 龍江新聞の定期発行 -3 ホームページ運営委員会による情報発信</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	自然を生かした龍江らしさのアピールできる魅力ある企画		
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容 ・ 条件	アウトドアレジャー体験の企画・運営に携わってもらえる、意欲ある方を望む。 アウトドア・インストラクター経験者、アウトドア活動家

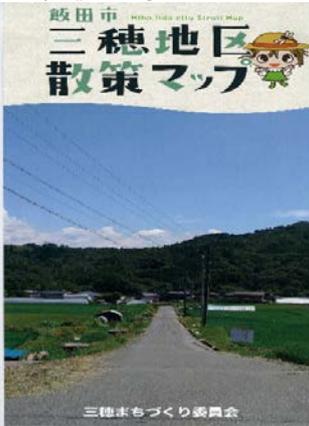


(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	しもだいら かつひろ		
代表者氏名	下平 勝熙		
ホームページ	http://tatsuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p>【天竜川鷲流峡復活プロジェクト事業】 「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、名勝鷲流峡周辺の不法投棄をなくすため、自治会と事業者である信南交通(株)天竜舟下り事業部と連携しプロジェクトを立ち上げた。 竹林伐採・維持管理作業等による景観保全に努めながら、環境・教育・産業・次世代交流(後継者育成)という視点で活動している。 主な活動は次のとおり 竹林伐採・維持管理、天竜いなちく(国産メンマ)の製造・販売、竹灯籠の製作と各種イベントへの出展、ガードレール洗浄作業、しあわせ桜のライトアップ等</p>		
	  		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域内外を問わず、事業者、NPO等との連携を進め、地域の課題解決に取り組んでいきたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	竹林伐採作業・メンマづくり

(ふりがな)	かわじ まちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう いまむら まさひろ		
代表者氏名	会長 今村 正大		
ホームページ	https://kawai-machidukuri.com/		
メールアドレス	kawai-m@kawai-machidukuri.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>基本目標 『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現</p> <p>I 基本目標実現のための取り組み</p> <p>①主催・共催・支援等の行事を通してコミュニティーの深化を図ります ②川路居住憲章への理解と啓発を図ります ③防災減災への取り組みを強化し、災害時一人の犠牲者もない地域を目指します ④明日の川路のために、子育て支援の充実を図ります ⑤住民の健康推進と、高齢者福祉の充実を図ります ⑥観光、農業を始めとした産業振興を図ります ⑦訪れる人がさわやかな気持ちになる美しい川路を創ります ⑧川路に帰ろうキャンペーンを継続し、川路に縁のある方々との絆を深めます ⑨まちづくり委員会の今をタイムリーにお知らせします</p> <p>II 川路基本構想及びまちづくり委員会の組織見直し</p> <p>①事業継続のための組織見直しと実践 ②土地利用計画策定と、川路基本構想(緑本)の見直し ③プロジェクトの推進と特別委員会の活性化 ④現役世代でも担えるまちづくり委員会組織運営の研究</p> <p>III ウィズ・コロナ社会への対応</p> <p>・出来る限りの感染防止対策を行い、まちづくりのための活動を積極的に推し進めます</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>2021 川路フォーラム</p> <p>伝えよう水難の里の歴史を ～36災から60年～</p> <p>フォーラムに先立ち、前日には、事前学習としてウォーキングを行い、天竜川沿いの水害の痕跡や、川と関わってきた歴史を、直接自分たちの目で見て学びました。60年前の昭和36年6月27日、天竜川は未曾有の災害を引き起こしました。川路地区では、災害から60年の節目の年を迎え、改めてこの水害を見つめ直し、次世代に伝えていくためにフォーラムを開催しました。このフォーラムでは、災害から復興までを構成吟で振り返ったほか、式典や、一昨年の台風19号で被災した長野市長沼地区自治会長の柳見澤宏さんの基調講演、36災体験者も含めたパネルディスカッションを行いました。</p> <p>地域全体で改めて水害について考える機会となり、6月27日を「川路水害予防の日」に制定し、水害に備えると共に災害の記憶を語り継ぐ大会宣言も採択しました。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容		
	条件		



(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう しおざわ あきお		
代表者氏名	会長 塩澤 章 男		
ホームページ			
メールアドレス	yamamoto@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。</p> <p><10の地域づくり目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【山本地区組織等見直し】 2021年4月、下記の4つの視点を取り入れた新たな組織を導入しました。 ◎各部会の正副部会長は各区・平から選出し、4区と連携して山本地区全体で課題解決を進めるための構成としました。 ◎各部会の事業について調整し連携を協議するための組織として「企画委員会」を設置しました。 ◎部会では企画・立案・運営を行い、実施は部会役員だけでなく地域全体の助け合いで行うことを基本とします。 ◎組合選出役員数を見直し簡素で機能的な組織としました。 現在、いくつかの課題はありますが、組合単位で選出された部員が行っていたリサイクルステーション・ごみ集積所管理、人波作戦はその役職に関係なく、区や平単位で実施することができました。</p> <p>【二ツ山市営住宅跡地分譲の募集】 二ツ山の市営住宅跡地を利用し、市と山本地域づくり委員会と協働で分譲を行っています。 今年度は新たに宅地分譲及び山本の子育ての様子を紹介したチラシを作成。クラフトフェア飯田、地区内企業や金融機関等に配布し周知に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区画数: 残り1区画 ○区画面積: 310.23㎡ ○区画価格: 約317万円  		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容条件	

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう くぼた まなお		
代表者氏名	会 長 久保田 真直		
ホームページ	http://iidamiho.wpblog.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>10年後の将来像 豊かな自然と伝統ある文化の郷 三穂 「見守りと公共交通を確保し、みんなが寄り添い 住民の手と手・心と心が繋がっている郷」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域経済の活性化 ○持続可能な地域社会の構築、未来の子供たちへ引き継げる環境を残す ○地域住民が相互に支え合い、防災・減災に取り組み、安全で安心して暮らせる地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○三穂地区散策マップの作製 三穂地区についての歴史・文化並びに観光スポットを掲載した案内パンフレットを、尋ね歩きマッププロジェクトにより作製。地区外への三穂のPRに繋げる。 ○君崎ふれあい広場の管理 毎年6月と9月に、まちづくり役員・組合長等により草刈り作業を行っているが、芝生の手入れが不十分のため、今年度まちづくりで乗用モアを購入し、役員による手入れを行い芝生の状態も大分改善された。また、今年度から地区組合員による芝生内の雑草除去作業を行い綺麗な広場を目指していく。 ○命名の色紙プレゼント 三穂地区で生まれた赤ちゃんをお祝いしようと、三穂出身の「イラスト書道家」和全さんによるオリジナルの命名の色紙プレゼントを始めた。12月現在、4件の依頼あり。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	みやした ひろし		
代表者氏名	宮下 博		
ホームページ			
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2021～2026)「緑輝き 人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切にし「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【人に自然に優しい土地利用】 ～アップルロードりんご並木愛護の取組～ 中央道飯田ICのアクセス道路である国道153号バイパス、通称「アップルロード」の建設計画時に、当地区の農家の青年層からの発案で、街路樹としてりんごが植えられました。以来、35年以上にわたって、まちづくり協議会、伊賀良小学校、果樹農家など地区が一体となって管理、秋には小学生が地区民とともにりんごを収穫し、収穫祭を実施しています。</p> <p>【誰もが安心して暮らせる地域づくり】 ～自然エネルギーの有効利用～ 隣接する山本地区との統合中学校である旭ヶ丘中学校の生徒が自ら、校舎への太陽光発電施設の設置を発案し、両地区へ提案、3者で協議会を立ち上げ、市から認定を受け、平成27年度に工事が行われ、運用が開始されており、環境学習等の意識向上に役立てられています。</p> <p>【自然を大切にし「地の利」を活かした産業づくり】 ～豊かな森林資源の活用～ 当地域は西側の山地に広大な森林を有しており、「西部山麓」と呼ばれています。飯田ICに近い「地の利」を活かして、森林資源の活用を図っており、特に沢城湖周辺は、これからを考える懇談会等を実施しながら、重点課題として活用を進めます。</p> <p>【香り高い文化の創造】 ～公民館活動～ 全世代がふるさとに誇りと愛着を持って暮らせるよう、特に小学校との連携を強化しながら、小学校校歌など地域に着目した学習と交流を推進しています。</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	沢城湖周辺をはじめとした西部山麓一帯の今後の活用(指定管理など含め)		
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう やすだ かんじ		
代表者氏名	会長 安田 完爾		
ホームページ	https://hitokana.com		
メールアドレス	kanae-machi@mia.janisor.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>【めざす将来像】 ～ 人・暮らし・文化が潤う 夢ある“かなえ”～</p> <p>【めざすまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 10地区の魅力を生かし活力あるまちづくり II 誰もが豊かな心を持ち健康で生きがいを持てるまちづくり III みんなが支え合い安心して暮らせるまちづくり IV 景観と調和する潤いと快適なまちづくり V 明日のかなえを創る子どもを育むまちづくり VI 産業の振興と自然を活かしたまちづくり VII 地域に学び人と文化が輝くまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○ 鼎地区パワーアップ事業 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施し、自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに毎年助成を行っています。令和3年度は10団体に約200万円を助成する予定です。</p> <p>○ 世代間交流、子どもの居場所づくり・体験事業 鼎各地区に伝わる獅子舞などの伝統芸能を継承するとともに、世代間交流や体験学習の取組みを進めています。また、夏休みに、「みんなで宿題やらまい会(上山区)」、「令和稲井学校(名古熊区)」、「一色塾(一色区)」と題して、子どもの居場所づくりを実施しています。</p> <p>○ 公民館事業 鼎公民館では子育て世代や子どもを対象とした事業に重点的に取り組むと共に、生涯学習事業や鼎全体で取り組む事業等、多彩な活動を行っています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めています。小学生親子を対象とした「ずんずんず～ん隊」では、下伊那農業高校と連携し、農作物の栽培から加工を行い、小・中・高校生と大人が関わり合い学び合う機会として実施しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>父親学級(乳幼児学級)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大豆の収穫(ずんずんず～ん隊)</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	いわさき もりつね		
代表者氏名	岩崎 守倫		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域全体の結束力と住民自治の組織力向上の郷づくり ●活力に満ちた健康づくりの郷づくり ●地域で育み地域で支え合う福祉の郷づくり ●組織的な災害対応と安心安全で快適な郷づくり ●リニア時代を見据えた郷づくり ●地域を支える人づくり文化を尊ぶ郷づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○リニア中央新幹線の本体工事は、中央アルプストンネル松川工区の工事が着手されており、長野県駅(仮)の構造や作業用トンネルの計画概要も示され、関連道路も本格的な工事が始まろうとしています。リニア中央新幹線本体工事は経験のない大規模事業です。コミュニティを維持した移転対応、地域コミュニティの場の整備、最大限の生活環境保全への配慮等について、地域住民に真に寄り添った対応を関係機関に求めるとともに、地域全体の将来を展望し対応します。</p> <p>○上郷地域の土地利用や景観について、国道153号北改良や県道市場桜町線等の工事進捗に伴い、引き続き上郷地域独自ルールの定着を図ります。</p> <p>○野底山森林公園の管理運営は、地域密着型の公園づくりに向け、管理棟を拠点に関係者で役割を分担しています。またリニア時代を見据えた活用、公園の活性化に向けた事業(園内散策、さくら・もみじ祭り、キャンプ場、マレットゴルフ等)を推進しています。</p> <p>○各地区まちづくり委員会組合加入に向け、加入促進を図りながら加入しやすい環境の整備を検討し、全員参加で生まれる理想の地域づくりを進めます。</p> <p>○放課後の子どもの居場所づくりについて、居場所づくりに向けて専門委員会を設け関係各機関と連携して取り組みます。</p>		
			
	かえでアンサンブル道路除草作業		野底山森林公園祭り
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容・条件	

(ふりがな)	みなみしなのまちづくりいいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	こんどう ちかお		
代表者氏名	近藤 力夫		
ホームページ			
メールアドレス	minamisoumu@city.iida.lg.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○住み続けたい、住んで楽しい郷づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が輝き、にぎやかな遠山郷 ・安心安全に暮らせるまち 地域内の助け合い ・交流人口、関係人口の拡大を移住定住へつなげる ・三遠南信自動車道の開通を見据え、人を呼び込む取り組みを実施 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域独自の移送サービスの検討(地域福祉プロジェクト) ・若者等が住み続けられる支援(地域格差、負担の軽減) ・移住定住に特化した体制づくり及び「南信濃1500委員会」の活動を開始 長野県移住モデル地区の認定 令和4年度の「やまざと親子留学」の受け入れ準備など 「遠山郷お試し住宅」の整備と利用開始 ・地域の課題や将来をみんなで考える(遠山未来フォーラム) ・学校と地域が連携した地域人教育の推進 「和田宿にぎやかし隊」との連携 和田の寺子屋ほか ・南信州の新たな玄関口の整備 「遠山郷花街道事業」への取り組み(関係団体との横連携) ・地域振興の拠点施設「道の駅遠山郷」の今後のあり方の協議 ・ゲストハウス「太陽堂」、UIターンなどによる若者の活動支援、協力 ・地域おこし協力隊・山暮らしカンパニーほか若者グループ活動への支援と協力 		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を支援対象とした移送サービス、助け合い ・生活支援サービス 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ・遠山川沿いの桜の手入れ作業、花街道整備事業による花木植栽地の維持管理作業

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	くまがい かねとみ		
代表者氏名	熊谷 兼富		
ホームページ			
メールアドレス	oideyokamimura@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『ちいさくともキラリとひかる郷・かみむら』</p> <p>～ESD for SDG s への挑戦～ ここにあり続けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 若者等が定住できる郷づくり ◆ 誰もが健やかに安心して暮らし続けられる郷づくり ◆ 自然と歴史を活かして伝統文化を育む郷づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>◆遠山郷未来プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス体験(体感)プログラムの構築とホームページの立上げ <small>(4つのカテゴリー(アクティビティ・文化体験・ガストロノミー・リラクゼーション)の体験プログラムを約30アイテムを提案。ガイドは地元民。少人数での滞在型プログラム)</small> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">上村 体験</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">検索</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・上村の暮らしマニュアル“未来の移住者”の活用 <small>(上村で暮らすための教科書をマニアックに紹介。移住相談等に活用。)</small> <p>◆遠山郷しぜんとあそぼう“どんぐり隊”</p> <p>地域のみんなで地域の宝を活かし、生きる知恵・楽しさ・文化・自然の豊かさや尊さを、自分たちも楽しみながら次世代へつなぐために活動する“どんぐり隊”。今年度の目標は『キャンプを極める！』とし、防災についても学習し、小学校の夏休みを利用して防災キャンプを実施。</p> <p>他にも、保育園裏山フィールドにあるウッドデッキのメンテナンス、草刈も定期的実施。コロナ禍で大勢での活動に制約がある中でも、出来ることに取り組んでいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>防腐剤塗布</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>避難所(パーティション) 体験</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		

(ふりがな)	みなみしんしゅう バイコロジー きょうかい		
団体名称	NPO法人 南信州バイコロジー協会		
認証年月日	平成22年 1月 5日		
(ふりがな)	くまがい ひでお		
代表者氏名	熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8558-1		
ホームページ	南信州バイコロジー協会検索可能		
主な活動分野	サイクルイベントの実施		
活動内容	新型コロナウイルス感染症の影響で、計画した活動がすべて取りやめとなりました。		
PRLしたいこと	自転車を活用したスポーツ振興や地域振興策を模索しています		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ほんいがくせいぼうほんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年12月21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全・高齢者の特殊詐欺被害防止)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のため、オリジナル防犯テキストの(小中学生用)作成配布</p> <p>○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈</p> <p>○防犯意識高揚のための防犯ポスター、防犯カレンダーの作成支援</p> <p>○防犯教室、防犯訓練の共同開催、通学路防犯パトロール</p> <p>○防犯意識高揚のためのDVDの作成並びに配布</p>		
	 <p style="text-align: center;">防犯テキストの寄贈</p>		
	 <p style="text-align: center;">防犯ポスター審査</p>		
PRLしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育徹底するとともに、子ども達が自ら「自分の身体は、自分で守る」事が最も大切であると考え、「イカのおすし」の普及に努めている。</p> <p>○高齢者が自分の財産は自分で守り、特殊詐欺被害に遭わないための「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等との連携・協力</p> <p>○高齢者が特殊詐欺被害に遭わないための各種ボランティア団体等との連携・協力</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん おしゃべりさらだ		
団体名称	特定非営利活動法人 おしゃべりサラダ		
認証年月日	2016年 3月 1日		
(ふりがな)	まつむら ゆみこ		
代表者氏名	松村 由美子		
主な事務所の所在地	飯田市追手町2丁目630-8		
ホームページ	nposalad.com		
主な活動分野	1.2.3.8.10.11		
活動内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業 (厚生労働省が勧める子育て支援の活動「つどいの広場」事業の運営) ◆「子育てサロンおしゃべりサラダ」、出張ひろば「おしゃべりポトフ」、そして指定管理者として「座光寺つどいの広場」を運営しています。妊婦さんから未就園児を持つご家庭に親子の居場所として利用していただけます。遊んだり、おしゃべりしたり…子育て講習会やお楽しみ会、子育て情報もあり、子育てアドバイザーに相談ができます。「Baby&妊婦さんDay(毎月第2土曜日)」には助産師が常駐しています。</p> <p>◆訪問活動「てとて」 妊娠期の不安、授乳や赤ちゃんがいる生活での不安等、家庭で孤独になりがちなママの不安を和らげるお手伝いとして、子育てアドバイザーや助産師がご自宅にお伺いします。お気軽にご連絡ください。</p> <p>2. 集団託児事業 イベントや行事時に集団託児をお引き受けします。ご家族が安心して行事に参加でき、お子さんも安心して楽しい時間が過ごせるよう、託児サポーターがお預かりします。</p>		
PRLしたいこと	<p>ママ仲間で「いつでも行ける親子の居場所があつたらいいね」とH14年に始めた「子育てサロンおしゃべりサラダ」の活動は、長年任意の民間団体として活動を続けましたが、2016年3月「NPO法人おしゃべりサラダ」として再スタートしました。親子を迎えるスタッフは子育て中のママでもあり当事者目線を持ちながら、みんなの子育てを応援し活動しています。子育てが、ひとりだけで頑張る「孤育て」にならないよう、みんなで手と眼と心をかけあって、親子ともに育ちあえることを願っています。困った時に手を伸ばせば、手を添えてくれる人がいる安心、そして今度はあなたがその手を握ってあげる人に！そんな子育てを結いのまち飯田で一緒にしたいですね。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	小学生・中学生・高齢者、地域の方々との交流や居場所作り		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育てを応援し、活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育て家庭を温かく見守り、親子に楽しく関わってみたいという方託児サポーターをしていただける方



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん かわじぐりーんかるチャー		
団体名称	特定非営利活動法人 川路グリーンカルチャー		
認証年月日	H24年 3月21日		
(ふりがな)	せきや とうきち		
代表者氏名	関谷 藤吉		
主な事務所の所在地	飯田市川路4880-2		
ホームページ			
主な活動分野	5 環境		
活動内容	<p>飯田市川路地域を中心に、住民、企業あるいは各種団体に対して、環境保全に関する事業を行い、人の営みと自然環境が調和した美しい地域づくりに寄与することを目的とする</p> <p>①除草、除伐による景観形成、環境保全事業 ②緑化による景観形成、環境保全事業 ③農業をはじめとする地域産業を支援する事業</p>		
PRしたいこと	<p>飯田市川路地域を中心に、除草、除伐作業を受けます(お見積もり可能)</p> <p>作業を実施する会員を募集します</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん いなだにちくりんくす		
団体名称	特定非営利活動法人 いなだに竹Links		
認証年月日	令和3年 10月 6日		
(ふりがな)	そねはら むねお		
代表者氏名	曾根原 宗夫		
主な事務所の所在地	飯田市下久堅知久平349-7		
ホームページ	https://chikulinks.org/		
主な活動分野	5 環境		
活動内容	<p>いなだに竹Linksは、南信州伊那谷の豊かな森林、里山、水資源を守るため、放置竹林問題に取り組み、行政や地域の枠を超えて、以下のような活動を実施しています。</p> <p>①放置竹林整備 →放置された竹林に人が入れるよう適切な伐採を行い、美しい竹林の実現や多様性のある森づくりを行います。</p> <p>②竹資源商品化 →伐採した竹を活用し、商品開発を行います。</p> <p>③環境教育 →竹を通して世代や地域を超えた交流を作り出し、竹林整備の方法や竹資源の活用方法の普及に取り組んでいます。</p>		
PRしたいこと	<p><持続可能な竹林整備に取り組んでいます！></p> <p>継続して竹林整備を進めていくために、作業で発生する竹材、竹炭等を活用して、竹網焼肉や竹筒飯盒を行い、楽しく、美味しく竹に触れる活動を行っています。</p> <p>また、都市部の学生ボランティア団体と連携し、共に放置竹林という地域課題に対して活動し汗を流すことで、世代や居住地を超えた出会いが生まれています。学生が参加すると、地元の若者も参加しやすくなり、次世代の担い手づくりにもつながっています。これらを通して、さらに活力溢れる活動が実施できます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>農業(栽培、畜産等)・・・ポーラス竹炭、竹パウダー(飼料)、竹炭(消臭)の効果測定</p> <p>アウトドア・・・竹筒飯盒、竹網BBQ、竹食器づくり、竹パーテーション体験</p> <p>環境教育・・・竹林整備と商品開発(国産メンマづくり)、体験修学旅行の受入</p>		
困っていること	竹林整備の依頼が少なく、活動場所が少ないこと。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	趣旨に賛同し、活動を応援してくださる賛助会員を募集しています
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に汗を流して活動できる方

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん さとやまべーす		
団体名称	特定非営利活動法人 里山べーす		
認証年月日	2019年 2月 28日		
(ふりがな)	よしざわ とみお		
代表者氏名	理事長 吉澤 富夫		
主な事務所の所在地	飯田市千代1159番地1		
ホームページ	https://www.yokonetanbo.jp		
主な活動分野	中山間地域の活性化		
活動内容	<p>① よこね田んぼの保全に関する事業 よこね田んぼ保全委員会と協働して、棚田での米づくりを通して環境の維持・保全と地域の活力の創出に努めている。</p> <p>② 観光振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 千代地区内外のイベントや特産品販売等を活用してのPRを行う。 ・特産品販売 よこね米の販売、よこね産の酒米による日本酒販売 などを行う。 		
PRしたいこと	<p>千代には「よこね田んぼ」のほかにも「スリルと渓谷美満点の万古渓谷」、「清流米川沿いの松林に広がるキャンプに最適な野池親水公園」など、豊かな自然を満喫できるスポットがいっぱい。</p> <p>現在、こうしたスポットでの自然体験後の休憩や宿泊場所としての活用も視野に、当NPOの拠点である古民家「橋場」を改修し、ゲストハウスやリモートオフィスとして活用できるよう準備を進めています。</p> <p>これらの管理運営に興味のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	よこね田んぼや野池親水公園、万古渓谷、下村広場等々千代の豊富な地域資源を、企業の職員研修や芸術・文化活動の場として活用する取り組みを、他団体と協働して実施できると考えています。		
困っていること	<p>コロナ禍で地区外(特に県外)からの参加希望者を受け入れできないこと。</p> <p>棚田保全活動を地元住民のみで行わざるを得ず、負担も多いほか、交流時の喜びが感じられない。また、観光公社からの収入が途絶えてしまっている。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	条件は特にありません。興味のある活動に参加するだけでも、賛助会員として遠くから会費だけ支払って支援するというだけでも構いません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	



棚田のオーナーさん一家の稲刈り体験を指



野池親水公園



ムトス飯田

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します

ムトス飯田推進委員会

電話：0265-22-4511（内線）5433

FAX：0265-22-4568

E-mail：mutosu.iida@gmail.com